


第79回国民スポーツ大会

2025



テニス競技会

主 催  **公益財団法人日本スポーツ協会**
文部科学省 滋賀県
公益財団法人日本テニス協会
大津市



国民スポーツ大会



国民スポーツ大会(国スポ)は、広く国民の間にスポーツを普及し国民の体力向上を図るとともに、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与することを目的として、毎年開催される国内最大の総合スポーツ大会です。

都道府県対抗で行われる正式競技・特別競技・公開競技のほか、年齢・性別・障害のあるなしを問わず、誰もが参加することができるデモンストラレーションスポーツが実施されます。

第79回国民スポーツ大会

大会愛称

わたSHIGA輝く国スポ

選手、ボランティアをはじめ、滋賀県で開催するこの大会に関わるすべての人が、様々な場面で主役として光り輝き、夢や感動、連帯感を共有できる大会を目指します。

大会スローガン

湖国の感動 未来へつなぐ

「琵琶湖」を擁する湖国滋賀で生まれた感動が、この大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれるようにとの願いが込められています。

大会マスコットキャラクター

琵琶湖に生息する固有種「ビワコオオナマズ」をモチーフにしたキャラクターです。



■ キャットフィー

どんくさいわりにチャレンジ精神が旺盛で何事にも一生懸命。子ども好きで人を楽しませることが大好きです。



■ チャットフィー

「キャットフィー」の幼なじみで、昔から仲の良い友達です。泳ぐことは得意ですが、陸のスポーツは少し苦手で「キャットフィー」に教えてもらっています。

「キャットフィー」と「チャットフィー」を合わせて「キャッチ」。人の心をキャッチする、という意味が込められています。

目 次

あいさつ

公益財団法人日本スポーツ協会 会長 遠藤 利明	4
文部科学大臣 あべ 俊子	5
公益財団法人日本テニス協会 会長 深澤 祐二	6

歓迎のことば

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会会長 滋賀県知事 三日月 大造	7
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会会長 大津市長 佐藤 健司	8
滋賀県テニス協会 会長 荒谷 善夫	9
国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程	10
国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程	11
大会役員	12
競技会役員	16
国内大会委員会 国民スポーツ大会専門部・トーナメント運営委員会	18
競技役員	19
競技補助員・競技会係員・競技会補助員	21
総則	22
実施要項	41
競技会日程	46
競技組合せ表	48
表彰式次第	52
テニス競技の見方	53
参加監督・選手一覧	56
都道府県別参加人員表	60
競技会場図	61
競技会場案内図	62
関係機関連絡先一覧	63
記録速報サイト	74

敷 地 内 全 面 禁 煙

ただし、望まない受動喫煙防止のため喫煙所を設置しています。

喫煙される方は、指定された喫煙所をご利用ください。

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会



あいさつ

公益財団法人日本スポーツ協会

会 長 遠 藤 利 明

約 400 万年の歴史を持つ日本最大で最古の湖である琵琶湖を中心に雄大な風景が広がり、古くから日本の文化や経済の先進地として栄えたここ滋賀県において、第 79 回国民スポーツ大会が開催されますことは、誠に喜ばしい限りです。

大会愛称である「わた SHIGA 輝く国スポ」のとおり、大会に関わる全ての方々が主役となり、光り輝くことができる大会となることを願っております。

スポーツは、目標に向かっての努力と達成感、そして観戦する人をワクワクさせ、楽しく、心を動かすものであるからこそ、人々を、社会を元気にする力を持ちます。

本年 6 月、14 年ぶりに改正されたスポーツ基本法では、スポーツを「する」「みる」「ささえる」に加え、「集まる」「つながる」として明示されています。

厳しい予選を勝ち抜き、郷土の代表として集まったアスリートの皆様には、フェアプレーを通じて友情を深め、つながり、スポーツが楽しいものであることを体現いただき、開催地の皆様とも交流を深め、全国にスポーツの力と滋賀県の魅力を発信する伝道者になっていただければ幸いです。

さて、昭和 21(1946)年にスタートした「国民体育大会」は、昨年「国民スポーツ大会」へ名称を変えて新たなスタートを切るなど、大きな変革期にあります。

日本スポーツ協会では、本年 3 月、「今後の国民スポーツ大会の在り方を考える有識者会議」から示された「提言」に基づき、国民の皆様がこれまで以上にワクワクし持続可能な魅力ある大会となるよう、様々な改革に取り組んでいくこととしています。

結びに、本大会の開催にあたり、長年諸準備にご尽力いただきました、地元滋賀県をはじめ関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。



あいさつ

文 部 科 学 大 臣

あ べ 俊 子

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ滋賀県において第 79 回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

滋賀県は、日本最大の湖である「琵琶湖」、四季折々の表情を見せる「伊吹山」等、美しく彩りある豊かな自然の魅力にあふれ、世界文化遺産である「比叡山延暦寺」や国宝「彦根城」等、歴史と文化が息づく県です。

昭和 56 年のびわこ国体以来 44 年ぶりの滋賀県での開催となり、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

また、本大会は、様々な場面で環境に配慮した取組を行い、スポーツの力を活用し、持続可能な社会づくりに貢献していくすばらしい大会となっています。「わた SHIGA 輝く国スポ」が、国民に夢と感動、連帯感を共有できる大会、また、開催地である滋賀県の活性化に資する大会となりますことを心から願っております。

郷土の代表として参加される選手の皆さんが、これまで積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や滋賀県民の皆さんとの交流の輪を広げられ、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

昨年度は、パリオリンピック・パラリンピック競技大会が、今年度は東京 2025 世界陸上競技選手権大会、第 25 回夏季デフリンピック競技大会東京 2025、ミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、国民のスポーツへの関心はますます高まっているところです。

文部科学省としても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、「わた SHIGA 輝く国スポ」の開催に当たり御尽力いただいた地元滋賀県、会場となる各市町をはじめとする関係の皆様の御支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶いたします。

令和 7 年 7 月 31 日



あいさつ

公益財団法人 日本テニス協会

会 長 深 澤 祐 二

わたしが輝く国スポ「第 79 回国民スポーツ大会 テニス競技会」が、大津市大石緑地スポーツ村テニスコートにおいて盛大に開催されますことに、心よりお祝いを申し上げます。また都道府県、ブロック大会を勝ち上がって、本大会に出場を果たされた選手、監督、コーチほか関係者の皆さま、その皆さまたちを応援し、支えてこられた皆さまにも、あらためてお祝いを申し上げます。

本大会のスローガンは「湖国の感動 未来へつなぐ」であり、感動が大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれるようにとの願いが込められていると伺っております。

私たち日本テニス協会も、テニスを通じて、人と人、国と国をつなぎ、その素晴らしさを伝え、すべての人が健やかで幸福な人生を享受できるような、多様性と調和のある社会の実現に貢献するとともに、その活動を通じて日本を、地方を元気にしていきたいと思っています。

ぜひ選手の皆さまには、都道府県代表チームのメンバーとして、天皇杯と皇后杯を目指し、日ごろの練習の成果を存分に発揮していただくとともに、関係者の皆さまにも、この大会で得られた感動を多くの皆さまと共有していただき、テニスを通じて人と人をつなぐ活動をお願いできればと思っています。

最後になりましたが、本大会の開催と運営に多大なるご尽力を頂きました、滋賀県、大津市、滋賀県テニス協会をはじめとする関係者の皆さまに厚く御礼を申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。



歓迎のことば

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会会長

滋賀県知事 三 日 月 大 造

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、全国から選手・役員の皆様をはじめ多くの方々をお迎えし、ここ滋賀県において「わた SHIGA 輝く国スポ」を開催できますことは、この上ない喜びであり、県民を代表して心から歓迎申し上げます。

また、本大会の開催にあたり多大な御支援と御協力を賜りました関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

本大会は、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝くとともに、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が、大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれることを目指しています。

大会における共生社会の実現に向けた取組や環境配慮の実践、さらには心のこもったおもてなしなど、長年培ってきた滋賀ならではの視点により、みんなが輝く大会にしてまいりたいと考えております。

本県は、我が国最大の湖である琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境や、古くから交通の要衝として栄えてきた歴史を有するとともに、先人が人と人、人と自然のつながりの中で育んできた文化が今も脈々と息づいています。是非、滋賀のリズムに触れていただき、心のリズムを整え、本県での滞在を楽しんでください。

選手の皆様方におかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮されますとともに、地域をこえた交流に触れ、本大会を思い出に残る素晴らしい大会にさせていただきたいと存じます。

結びに、本大会に関わる皆様の御健勝と御多幸を心から祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会会長

大津市長 佐藤 健司

わたSHIGA輝く国スポ「第79回国民スポーツ大会 テニス競技会」が、大津市にて盛大に開催できますことを大変嬉しく思います。全国各地より参加される選手・監督、大会関係者の皆様をはじめ、大津市にお越しいただく方々を、市民を代表して心から歓迎申し上げます。

わたSHIGA輝く国スポ「第79回国民スポーツ大会」は、昭和56年の「びわこ国体」以来、44年ぶりに滋賀県での開催となります。大津市では、選手の皆様が最大のパフォーマンスを発揮できるように会場の準備を整えるとともに、応援のぼり旗などの会場装飾づくりや地元食材を盛り込んだ「OTSU国スポこだわり弁当」の献立づくり、市内にちりばめられた歓迎装飾など大津市民をあげたおもてなしでお迎えできるように取り組んでまいりました。

また、各会場では、ボランティアによる大津の銘菓などのふるまいのほか、特に子どもたちが様々なスポーツに興味を持ってもらえるように、選手の皆様の競技を観戦することに加え、競技体験などの企画も準備いたしました。スポーツの素晴らしさを体現・体感し、皆様の記憶に残るような大会となりますことを、心より願っております。

さて、琵琶湖の恵みと比良・比叡の山々の緑に囲まれた大津市は、紫式部ゆかりの地である石山寺や三井寺、世界遺産比叡山延暦寺などの自然と歴史が調和した、豊かな文化が息づく地域です。今年は琵琶湖疏水施設が国宝・重要文化財に、坂本城跡が国史跡にそれぞれ指定されるなど、改めてその魅力が注目されています。また、近江牛や文化庁の「100年フード」の認定を受けた大津のうなぎなどの滋賀県・大津市の特産品や郷土料理に加え、琵琶湖でのクルーズなどのアクティビティもお楽しみください。

結びに、本大会の開催にご尽力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、選手の皆様のご健闘を祈念申し上げまして、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



滋賀県テニス協会

会長 荒谷 善夫

滋賀県大津市に全国から代表選手をお迎えし、わたSHIGA輝く国スポ「第79回国民スポーツ大会 テニス競技会」を開催できますことを心よりお喜び申し上げ、関係者一同熱く歓迎申し上げます。

会場の大石緑地スポーツ村テニスコートは、琵琶湖から南に流れ出た瀬田川が西にカーブする河川敷の豊かな緑地にあり、本大会に備え24面に増設して全面的にリニューアルされました。

選手の皆さまには、持てる情熱と技と力を十分に発揮され、郷土の期待に応え、交流を深められますとともに、本大会が多くの感動と思い出に包まれる大会になることを切に願うものであります。

選手の皆さまが試合に集中し最高のパフォーマンスを発揮頂けるよう、競技運営のお世話をさせて頂く関係者一同、真心を持ってサポートする所存でございます。

この機会に、皆さまにはぜひ琵琶湖をめぐって頂きたいです。古来万葉集にあらた詠われ、近年は司馬遼太郎など多くの文人にも愛された「近江の海」です。さらに、国宝彦根城などの文化遺産、近江商人などの歴史遺跡など観光資源も豊かです。

大津市は「古都」に指定され、文化財件数は全国3位の歴史的遺産の豊かなまちです。会場近辺には、源氏物語ゆかりの石山寺、古来の戦場や交通要衝の瀬田唐橋があり、少し離れますが世界遺産の比叡山延暦寺、三井寺、日吉大社があります。どうぞお楽しみ頂ければと存じます。

結びに、本大会開催にご尽力ご支援頂きました関係の皆さまに深く感謝申し上げますとともに、本大会の成功を心より祈念して歓迎のことばといたします。



天皇杯

皇后杯

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程

第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、天皇杯は、男女総合成績第1位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第1位の都道府県に授与する。

2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第2条 天皇杯及び皇后杯は、総合閉会式に授与し、次回の総合開会式において返還する。

第3条 天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

(1) 信託会社又は確実な金庫に保管する。

(2) 破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。

(3) 公益財団法人日本スポーツ協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定

昭和45年1月22日一部改定

昭和48年7月10日一部改定

昭和54年5月9日一部改定

平成17年6月16日一部改定

平成22年3月17日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年4月1日）から施行する。

平成30年4月1日一部改定

令和6年1月1日一部改定



大会会長トロフィー

国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程

第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、国民スポーツ大会会長トロフィー(以下「大会会長トロフィー」という。)は、正式競技別男女総合成績第1位の都道府県に授与する。

2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第2条 大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。

第3条 大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

- (1) 責任をもって保管する。
- (2) 破損、紛失等の場合は当該都道府県の責任とする。
- (3) 優勝の刻印を次回大会までに行なうものとする。ただし、第1条第2項の場合は、当該都道府県で協議して決めるものとする。
- (4) 公益財団法人日本スポーツ協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定

昭和45年1月22日一部改定

昭和48年7月10日一部改定

昭和54年5月9日一部改定

平成17年6月16日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日(平成23年4月1日)から施行する。

平成30年4月1日一部改定

令和6年1月1日一部改定

大会役員

2025年7月31日現在

(順不同・敬称略)

名誉会長	あべ 俊子				
会長	遠藤 利明				
副会長	益子 直美	田中 不二夫	三宮 恵利子	森岡 裕策	
	室伏 広治	三日月 大造	河本 英典		
顧問	伊藤 雅俊	森 喜朗	橋本 聖子	安西 孝之	
	岡崎 助一	越川 均	坂元 要	勝田 隆	
	室伏 由佳	村松 さやか	湯川 和之	植田 実	
	櫻井 由香	鹿島 丈博	吉岡 成子	石井 砂織	
	笠師 久美子	飯塚 悟	久保 正美	浦 美奈子	
	木平 芳定	中嶋 実	小寺 洋	桐木 陽子	
	旗生 康之	池田 めぐみ	工藤 保子	久保 直生	
	藤田 裕司	藤原 誠	室城 信之	金子 日出澄	
	貝瀬 智洋	森 晃	土橋 登志久	石丸 元国	
	多氣 洋平	井崎 洋志	鬼頭 有紀子	長谷川 洋子	
	吉田 長寿	齋木 尚子	多賀 恒雄	安藤 淳	
	上治 丈太郎	湧永 寛仁	上原 絵美	佐藤 健司	
	馬場 美香	山口 宏	南 和文	宮永 美寿津	
	千田 健一	中里 壮也	岡本 友章	大野 淳	
	加藤 出	田村 恒彦	蒔田 実	山崎 勝洋	
	浅見 敬子	山口 徹正	田中 伸周	村田 利衛	
	建部 彰弘	市野 保己	丸石 博	中村 ゆり子	
	齋藤 良太郎	谷田部 和彦	木村 博美	井上 弘	
	今川 啓一	近藤 重和	池谷 正成	大澤 明美	
	古城 資久	小野 賢二	園山 和夫	中山 俊行	
	田中 徹	知念 かおる	出口 弘之	田邊 哲人	
	城門 政文	前川 恵	上杉 晃央	布村 幸彦	
	茂野 直久	生島 典明	大沢 陽子	谷藤 節雄	
	熊谷 幸一	千葉 玲佳	奥山 雅信	酒井 祐一	
	藤田 知己	北條 俊明	田子 昌之	新井 彰	
	山崎 成夫	塩見 清仁	田名部 高雄	井出 仁	
	今西 博一	中村 宏平	松本 智広	森山 喜博	
	南部 則雄	福永 秀樹	高橋 繁浩	山本 健次	
	増田 和伯	猪飼 敏之	山本 誠三	松本 恭幸	

船田 一彦	奥田 晃	横尾 英治	小西 慎太郎
近藤 一幸	堂本 ひさ美	河村 祐一	渡邊 浩三
田中 稔	馬越 祐希	青木 章泰	城戸 英敏
藤本 武	小柳 勝彦	辛木 秀子	宮成 康蔵
藤本 格	岩元 幸成	平良 朝治	藤原 正樹
大河原 嘉朗	川上 隆弘	佐藤 廣子	奈良 隆
小菅 司	宇津木 妙子	菊 幸一	小林 久美
寺澤 正孝	山口 純子	武部 新	野中 厚
金城 泰邦	赤松 健	増子 宏	矢野 和彦
茂里 毅	浅野 敦行	有村 治子	上野 賢一郎
大岡 敏孝	嘉田 由紀子	北野 裕子	小寺 裕雄
こやり 隆史	斎藤 アレックス	武村 展英	宮本 和宏
目片 信悟	村井 泰彦	北村 嘉英	小椋 正清
伊藤 定勉	草野 聖地	杉浦 和人	永浜 明子
有森 裕子	鈴木 大地	宮本 恒靖	深澤 祐二
坂田 東一	三須 和泰	仲間 達也	川合 俊一
藤田 直志	三屋 裕子	富山 英明	馬場 益弘
砂岡 良治	金丸 恭文	安道 光二	河田 正也
豊田 章男	千 玄 室	中村 真一	牧島 かれん
村井 満	永谷 喜一郎	真砂 威	土田 雅人
町田 幸男	大野 正次	世耕 弘成	笹川 善弘
番匠 幸一郎	久保 素子	丹羽 秀樹	岩城 光英
寶 馨	荒川 裕生	小谷 知也	達増 拓也
鶴田 有司	吉村 美栄子	北村 清士	大井川 和彦
福田 富一	遠藤 祐司	大野 元裕	熊谷 俊人
山本 博	岡田 伸浩	花角 英世	新田 八朗
馳 浩	杉本 達治	高野 剛	阿部 守一
田口 義隆	中谷 多加二	大村 秀章	伊藤 歳恭
西脇 隆俊	高橋 知史	齋藤 元彦	池田 誠也
宮崎 泉	林 昭男	丸山 達也	越宗 孝昌
苅田 知英	村岡 嗣政	後藤田 正純	榎田 實
大塚 岩男	服部 誠太郎	山口 祥義	大石 賢吾
甲斐 隆博	麻生 益直	日隈 俊郎	塩田 康一
玉城 デニー			
粂井 圭子	大杉 住子	赤井 康彦	有村 國俊
井狩 辰也	今江 政彦	岩崎 和也	小河 文人

参

与

委員長
副委員長
総務委員

小川 泰江	奥村 芳正	海東 英和	加藤 誠一
河井 昭成	川島 隆二	河村 浩史	桐田 真人
九里 学	桑野 仁	駒井 千代	佐口 佳恵
重田 剛	柴田 栄一	柴田 清行	清水 鉄次
清水 ひとみ	白井 幸則	周防 清二	菅沼 利紀
田中 英樹	田中 誠	田中 松太郎	谷 成隆
谷口 典隆	富波 義明	中川 雅史	中沢 啓子
中山 和行	野田 武宏	節木 三千代	本田 秀樹
村上 元庸	木沢 成人	森重 重則	東 勝
岸本 織江	土井 真一	窪田 知子	野村 早苗
塚本 晃弘	森 和之	園田 三恵	松田 千春
東郷 寛彦	中村 守	中村 達也	山田 忠利
奥山 光一	岡田 暁人	中田 佳恵	伊吹 信人
白井 稔	藤原 久美子	正木 隆義	保田 誠
小林 雅史	池内 久晃	原 陽一	北川 純二
佐藤 健司	田島 一成	浅見 宣義	小西 理貴
橋川 渉	森中 高史	竹村 健	岩永 裕貴
櫻本 直樹	松浦 加代子	今城 克啓	角田 航也
堀江 和博	西田 秀治	有村 国知	寺本 純二
久保 久良	藤田 善久	甲津 和寿	堤 清司
高橋 祥二郎	市田 良夫	藤堂 寛	野村 昌弘
熊倉 正志	涌井 努	岸 智昭	武田 英明
山本 博一	寺村 義伸	金澤 博文	山本 順
杉原 真也	竹林 幸祥	山田 貴司	上西 保
一圓 泰成	石井 太	川戸 良幸	田畑 太郎
高橋 健太郎	草野 とし子	三木 恒治	市川 忠稔
上村 照代	富長 弘宣	佐野 智哉	太田 千恵子
赤井 弘和	大西 孝雄	崎山 美智子	
山本 浩			
岩田 史昭	田中 秀和	辻 睦弘	
松永 敬子	稲垣 公雄	笠野 英弘	加藤 光国
菅原 哲朗	田崎 博道	松田 基子	三ヶ田 礼一
山澤 文裕	吉田 崇誠	出崎 和夫	宇野 武
熊谷 利彦	佐橋 弘和	田内 慎也	山下 栄次
江橋 千晴	加藤 弘治	小澤 大樹	佐野 博之
青木 克憲	安井 和治	西島 義典	

委

員

平 野 了	高 橋 聖 一	吉 村 政 弘	若 月 等
松 本 康 夫	福 士 幸 洋	栗 原 崇	細 野 光 史
渡 邊 圭 太 郎	佐 久 間 裕 司	品 田 奥 義	濱 野 勉
寺 澤 淳	黒 川 重 男	舟 喜 信 生	高 野 修
中 梶 秀 則	安 藤 正 美	加 藤 憲 二	宮 川 良 輔
鈴 木 章 広	川 口 巖	和 田 潔	岡 泉 茂
田 口 大 祐	平 井 宏 治	岸 川 剛 之	西 原 斗 司 男
菅 原 正 幸	高 橋 昇	長 南 哲 生	衛 藤 敬 輔
渡 辺 久 雄	三 井 千 壽	鈴 木 信 吾	山 中 博 史
井 本 亘	関 根 明 子	中 山 二 三 男	越 前 浩 司
吉 田 由 美 子	杉 本 好 二	東 野 眞 理 子	川 口 雅 三
金 子 和 裕	野 口 友 里	品 治 恵 子	富 澤 佑 也
政 岡 航 大	坊 百 花	小 河 原 百 映	田 口 雅 紀
寺 垣 佑 介	田 中 遥 大	宇 高 章 広	近 藤 潤
南 野 芳 広	池 本 佳 子	横 江 弘 昭	沼 波 輝
門 久 仁 裕	清 水 直 子	高 井 和 紀	見 田 茂 紀
加 藤 雄 樹	鈴 木 敦	瀬 谷 尚 男	大 貫 大 輔
太 田 真 美	高 野 正 規	岩 埜 直 史	深 谷 祐 紀
金 田 貴 人	新 保 暢	戒 田 由 香 里	児 玉 晶 香
村 松 達 也	井 澤 克 行	林 剛 史	稻 葉 晴 伸
杉 浦 美 紀	藤 田 隆 司	曾 我 学	木 原 哲 也
高 橋 健 二	吉 村 宗 浩	中 嶋 純 也	前 田 康 博
松 本 守 正	松 本 綾 子	田 口 新 也	河 口 英 史
久 次 米 和 成	高 田 孝 行	辻 岡 英 幸	前 田 義 朗
笠 井 康 行	尾 鷲 一 成	松 山 度 良	濱 本 昌 宏
吉 野 賢 一 郎	横 山 美 和	山 元 尚 史	宮 城 直 人
高 野 瑞 洋	遠 藤 信 哉	千 葉 雅 也	菅 間 裕 晃
須 藤 勇 司	角 田 真 司	柄 澤 宏 之	竹 内 延 和
東 瀬 義 人	酒 井 雅 洋	碓 井 稔	武 田 知 巳
井 上 哲	今 後 元 彦	沼 田 守 弘	田 部 長 右 衛 門
竹 内 俊 勝	松 井 守	吉 岡 直 彦	刈 谷 好 孝
寺 崎 雅 巳	荒 木 健 治	平 江 公 一	黒 木 淳 一 郎
渡 嘉 敷 通 之	綾 部 吉 也		

競 技 会 役 員

2025年7月31日現在

(順不同・敬称略)

名 譽 会 長	佐 藤 健 司				
会 長	深 澤 祐 二				
副 会 長	川 廷 尚 弘	馬 場 宏 之	木 下 信 行	小 野 清 司	
	荒 谷 善 夫	伊 藤 義 樹			
顧 問	猪 谷 千 春	内 山 勝	嶋 岡 正 充	武 正 八 重 子	
	寺 澤 辰 磨	辻 晴 雄	八 木 知 徳	津 島 淳	
	長 井 健	浅 沼 道 成	竹 田 悟	小 野 寺 五 典	
	桑 名 基 勝	法 龍 院 充	鈴 木 崇 夫	広 野 幹 夫	
	岡 田 直 樹	安 間 保 行	栗 岡 威	山 田 悠 一	
	上 羅 廣	森 二 郎	金 子 昌 彦	上 野 通 子	
	坂 田 寛	小 林 繁	城 内 実	大 友 克 之	
	石 川 清	川 崎 二 郎	村 尾 修	松 崎 直 敏	
	滑 川 琢 也	長 坂 隆 司	井 岡 正 徳	平 松 敏 男	
	熊 野 義 夫	杉 本 和 子	西 村 弥 子	土 屋 高 明	
	十 川 道 信	近 藤 明 稔	大 塚 岩 男	柏 井 之 彦	
	上 和 田 茂	二 口 稔	小 手 川 励 人	菊 田 廣	
	松 尾 正 一 郎	大 西 儀 朋	秋 田 義 久	玉 城 智	
	草 野 聖 地	島 崎 輝 久			
参 与	細 川 俊 行	細 川 力 男	葉 月 陽	浜 奥 修 利	
	栗 野 靖 七	青 山 三 四 郎	井 元 潔	奥 村 功	
	改 田 勝 彦	笠 谷 洋 佑	嘉 田 修 平	川 口 正 徳	
	草 川 肇	幸 光 正 嗣	小 島 義 雄	佐 藤 弘	
	杉 浦 智 子	竹 内 照 夫	竹 内 基 二	田 中 知 久	
	田 中 康 博	谷 祐 治	出 町 明 美	寺 田 英 幸	
	寺 谷 吉 寛	中 川 哲 也	中 田 一 子	八 田 憲 児	
	林 ま り	原 田 優 太	伴 孝 昭	日 隈 慈	
	福 永 英 晶	船 本 力	森 川 え り な	森 脇 謙 一	
	田 村 靖 二	周 防 美 智 子	大 西 祐 司	関 理 子	
	國 松 睦 生	北 濶 弘 康	初 田 久 徳	内 川 直 樹	
	内 田 一 成	川 島 英 和	小 野 昌 幸	中 村 由 紀 子	
	菊 池 眞 宏	岡 嶋 一 郎	宿 谷 繁 生	三 國 昌 克	
	小 島 浩 幸	南 堀 弘	清 水 美 幸	弓 坂 則 行	

委員長
副委員長

高野 早人	團 初太郎	目 片 清	安西 将也
中山 敦生	野々口 義信	北 村 茂	河本 英典
津田 新三	松尾 房郎	井上 欣也	前田 康一
奥村 芳正	宇野 正信	神野 佳樹	渡辺 一生
藤原 健二	二宮 康人	小椋 正清	こやり 隆史
田濃 良和	石 井 智	久保 洋司	西 田 元
米田 博文	岸 智 昭	田 矢 隆一	人見 和宏
杉原 真也	田 畑 太郎	大森 聖一	八木 正樹
大西 延明	北川 有紀	田 中 勉	金子 博美
前川 賢慈	有村 國宏	三木 康二	宮坂 英二
近藤 正昭			
土橋 登志久			
大 塩 勲	仲野 弘子	山森 祐輔	
植 田 実	坂井 利彰	佐藤 雅治	蒲 生 清
大塚 由弥子	井沢 信一	田中 由布子	福島 敏夫
堀川 映子	西 村 覚	神 尾 米	松岡 修造
井上 直子	伊達 公子	長野 宏美	岡川 恵美子
甘露寺 重房	今井 茂樹	大久保 範子	手塚 玲美
草野 満代	坂井 幸司	鷲田 典之	浅井 良樹
菅原 万智子	平井 正弘	野村 浩之	吉 田 聡
打谷 桂子			

国内大会委員会 国民スポーツ大会専門部

(順不同・敬称略)

部	長	松 本	康 夫				
副	部 長	田 中	信 子	神 山	康 洋		
常 任 部 員		八 木	真 理	鈴 木	宏	小 林	淑 一
地域TA推薦部員		伊 佐 治	正 章	越 善	隆	中 村	博 敏
		山 森	祐 輔	西 村	寛	堀 川	映 子
事 務 局		野 澤	直 之			中 野	真 仁

トーナメント運営委員会

(順不同・敬称略)

大会ディレクター	松 本	康 夫					
アシスタントディレクター	田 中	信 子	神 山	康 洋			
委 員	八 木	真 理	鈴 木	宏	小 林	淑 一	山 森 祐 輔
	原 内	敏 夫	菅 原	万 智 子	高 岡	滋	吉 田 知 司
	江 副	正 貴	中 野	潤	平 井	正 弘	藤 村 加 代 子

競 技 役 員

2025年7月23日現在

(順不同・敬称略)

競 技 本 部 長	山 森 祐 輔				
競 技 副 本 部 長	今 本 育 子	横 田 英 一	原 内 敏 夫		
総 務 委 員 長	菅 原 万 智 子				
総 務 副 委 員 長	神 山 康 洋	油 利 享	草 野 見 鈴		
総 務 委 員	鈴 木 宏	野 澤 直 之	清 水 朝 美	逸 見 和 江	
	海 堀 恵 理 子	武 政 文 雄	辰 見 和 慶	安 居 院 裕 美 子	
	木 下 妙 子	越 智 信 夫	木 下 潔	澤 村 紀 子	
	西 村 典 子	新 出 八 重 子	吉 岡 康 夫		
進 行 委 員 長	吉 田 知 司				
進 行 副 委 員 長	三 田 村 和 典	室 矢 佳 子			
進 行 委 員	太 田 孝 康	富 永 浩 司	浅 野 木 奈 子	尾 形 美 恵 子	
	田 口 千 佳	松 岡 智 子	伊 吹 邦 子	井 上 順 子	
JBSコントロール委員長	江 副 正 貴				
JBSコントロール副委員長	砂 田 知 也				
JBSコントロール委員	澤 高 遠	宮 崎 強 介	安 藤 悠 矢	高 山 海 斗	
	村 川 学	米 満 理 子	吉 田 節 子	山 中 雅 久	
	松 川 千 恵	小 泉 憲 生	佐 藤 信 介	山 内 柊 二	
	四 元 栄 治	金 子 千 樹	栗 須 谷 有 起	塚 田 礼 子	
	磯 田 拓 人	小 島 優	小 川 千 尋	梶 本 研 一	
	青 木 み ち る	若 林 良 知	坂 田 和 章	田 中 宏 典	
競 技 委 員 長	高 岡 滋				
競 技 副 委 員 長	田 中 信 子	八 木 真 理	森 か お り	八 木 健 雅	
競 技 委 員	花 野 広 行	田 中 義 和	山 中 友 子	小 林 淑 一	
記 録 ・ 報 道 委 員 長	中 野 潤				
記 録 ・ 報 道 副 委 員 長	猪 飼 隆 弘	野 呂 勝 美			
記 録 ・ 報 道 委 員	岡 本 良 平	河 村 達 夫	東 清 信	中 村 毅	
	松 川 正 明	甲 斐 下 治 美	小 嶋 愛 奈	永 味 一 葉	
	北 原 智 子	柏 原 龍 二	牧 村 憲 治	浅 野 由 美 子	
	新 城 由 貴 江	鷗 鷗 達 士	岡 本 淳	林 恭 弘	
	霜 島 優 太	杉 嶋 琉 星	野 澤 滯	岩 本 理 沙	
	西 村 滯				
会 場 委 員 長	平 井 正 弘				

会場副委員長

会場委員

森 茂
猪原 靖弘
白根 昇
塚原 光子
岩川 恒男
後藤 洋一

久保 和巳
潤井 真咲
保田 みずほ
神内 由美子
服部 良雄
田中 一美

多田 章三
村松 真理子
岡本 康江
山野 三恵

辻村 惣一
平野 千晶
川端 文子
佐藤 修一

審判委員長

審判副委員長

審判委員

藤村 加代子

村田 由子

田中 由紀

西岡 登美子

今井 光代

上田 浩司

桶田 英樹

河野 江身子

重松 紀子

立岩 秀樹

寺下 広美

西川 美奈子

野方 華子

福永 拓也

船引 恵子

三宅 知佐子

森山 成子

脇田 里加

伊藤 敦司

岡本 馨子

鈴木 外代美

中原 朗世

宮本 由佳

松本 康夫

原内 敏夫

鈴木 可

高橋 由貴子

角井 千鶴子

石川 真理子

太田 千波

叶丸 利恵子

小山 真紀子

新沼 館利香

田中 喜美代

長澤 真由美

西田 照美

橋本 美香

福原 浩一

松本 和良

森 智子

矢田 直子

渡辺 幸子

石崎 フサ子

河原 直子

谷 哲雄

西 由花

三好 隆恵

菊岡 麻佐子

酒井 裕美子

石田 清香

奥園 芳実

木村 成子

佐藤 瑞萌

橘 優子

田中 幸雄

中島 宏美

西口 省三

林田 敦子

藤田 清恵

丸井 由美子

森田 紀美

矢野 文恵

梅谷 香

小西 由美子

徳田 裕子

松本 光美

米澤 勝美

大庭 和子

出縄 久子

奥西 千佳子

清野 万里子

嶋田 美佳

辰巳 悟朗

谷村 裕子

中野 美和

沼居 玲子

深谷 重一

藤本 しずか

南 久美

森野 俊裕

山田 裕美子

大石 俊恵

島 瑠美

富岡 浩史

宮崎 奈保

米澤 富士子

審判員（SCU）

審判員（CP）

総合成績計算委員長

総合成績計算委員

競 技 補 助 員

2025年7月31日現在

(順不同)

滋 賀 県 立 膳 所 高 等 学 校

滋 賀 県 立 大 津 高 等 学 校

学 校 法 人 近 江 育 英 会 近 江 高 等 学 校

学 校 法 人 聖 パウロ 学 園 光 泉 カトリック 高 等 学 校

滋 賀 県 立 栗 東 高 等 学 校

滋 賀 県 立 石 部 高 等 学 校

滋 賀 県 立 堅 田 高 等 学 校

滋 賀 県 立 大 津 商 業 高 等 学 校

学 校 法 人 ヴォーリズ 学 園 近 江 兄 弟 社 高 等 学 校

滋 賀 県 立 守 山 高 等 学 校

滋 賀 県 立 国 際 情 報 高 等 学 校

学 校 法 人 滋 賀 学 園 滋 賀 学 園 高 等 学 校

滋 賀 県 立 東 大 津 高 等 学 校

滋 賀 県 立 彦 根 工 業 高 等 学 校

滋 賀 県 立 玉 川 高 等 学 校

立 命 館 守 山 高 等 学 校

滋 賀 県 立 水 口 東 高 等 学 校

滋 賀 県 立 米 原 高 等 学 校

競 技 会 係 員

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大津市実施本部職員一同

競 技 会 補 助 員

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大津市ボランティア一同

大会実施要項

総 則

開催の趣旨

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする国内最大のスポーツの祭典である。

滋賀県で開催する第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」は「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝くとともに、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が、大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれる大会を目指して開催する。

実施方針

1 実施競技

(1) 正式競技（37 競技）

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

(2) 公開競技（7 競技）

綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック

(3) デモンストラレーションスポーツ（26 競技）

インディアカ、ウォーキング、ウォーキングフットボール、小倉百人一首競技かるた、カローリング、還暦軟式野球、キンボールスポーツ・レクリエーション、里湖で地域を結ぶウォーキング、スポーツウエルネス吹矢、スポーツ鬼ごっこ、スポーツ拳法、スポーツチャンバラ、スリースマイルゴルフ、スローイングビンゴ、ソフトバレーボール、ネットでポンポイ、ノルディック・ウォーク、ひこねスーパーカラム、ビリヤード、フットサル、マリンスポーツフェスティバル、ミックスバレーボール、モルック、ユニカール、ユニホック、ラジオ体操第3（初代・二代目）

(4) 特別競技（1 競技）

高等学校野球

2 会期および会場地

(1) 正式競技・特別競技（15 市、4 町：計 19 市町）

会 期	会 場 地
2025年 9 月28日（日） ～10月 8 日（水） 〔11日間〕	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、大阪府豊能郡能勢町、兵庫県三木市
2025年 9 月 6 日（土） ～ 9 月15日（月） 〔10日間〕	大津市、長浜市、草津市 ※ 水泳、体操、バレーボール（ビーチバレーボール）競技会は上記会場地で実施
2025年 9 月21日（日） ～ 9 月25日（木） 〔 5 日間〕	東近江市、京都府向日市 ※ 自転車（トラック・レース、ロード・レース）競技会は上記会場地で実施

(2) 公開競技（7 市：計 7 市町）

会 期	会 場 地
2025年 8 月23日（土） ～ 9 月21日（日）	長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市

(3) デモンストレーションスポーツ（13 市、1 町：計 14 市町）

会 期	会 場 地
2025年 4 月12日（土） ～ 9 月14日（日）	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、多賀町

(4) 文化プログラム

文化プログラムの実施については、「文化プログラム実施基準」に基づき、2025 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までの期間で、原則として、県内市町で開催する。

3 競技方法

各競技別実施要項に示す方法とし、正式競技は都道府県対抗で実施する。

4 ドーピング検査の実施

大会におけるアンチ・ドーピング活動（ドーピング検査およびアンチ・ドーピング教育活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」および別に定める「国民スポーツ大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。

なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例（TUE）の手続きを行うこと。

各都道府県の代表選手は、大会期間中は常に「国民スポーツ大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。選手が 18 歳未満の場合、本人の署名および親権者の署名がある同意書を所持すること。

5 参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準

選手および監督の参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準は、次のとおりとする。

なお、参加資格については、「第 79 回国民スポーツ大会参加資格、所属都道府県および年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

【 公益財団法人日本スポーツ協会ホームページ <http://www.japan-sports.or.jp/> 】

(1) 参加資格

ア 日本国籍を有する者であることとするが、選手および監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(イ) 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」（「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む。）

(ロ) 少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校に在籍する学生または生徒で、「8 参加申込方法」で定めた参加申込締切時に 1 年以上在籍していること。

b 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」または「定住者」に該当していること。

(ハ) 成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 少年種別年齢域にあった時点において前号(イ)に該当していた者であること。

b 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

[注] 上記(ハ)b について、大学および専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理および難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ 選手および監督は、所属都道府県の当該競技団体会長（代表者）とスポーツ協会会長（代表者）が代表として認め、選抜した者であること。

ウ 2023 年開催の特別大会または第 78 回大会（都道府県大会およびブロック大会を含む）において選手または監督として参加した者は、次の場合を除き、2023 年開催の特別大会または第 78 回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ア) 成年種別

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校を卒業した者

b 結婚または離婚に係る者

[注] a および b は当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

c ふるさと選手制度を活用する者（別記 1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記 3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記 5 「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

e 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記 6 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

(イ) 少年種別

- a 「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者
- b 結婚または離婚に係る者
- c 一家転住に係る者（別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」による。）
[注] aからcは当該要件発生後、初めて参加するものに限る。
- d JOCエリートアカデミーに在籍する者（別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。）
- e 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）
- f 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

エ 選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ 選手および監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会および本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。

カ 選手および監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ 選手、監督ならびに本部役員帯同のスポーツドクターおよびアスレティックトレーナーは、大会参加前の1年以内に公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）が指定するアンチ・ドーピング教育を受講し、「国スポ本戦出場前のアンチ・ドーピング教育履歴」に記載した者であること。

ク 上記のほか、選手については次のとおりとする。

- (ア) 都道府県大会およびブロック大会に参加し、これを通過した者であること。
- (イ) 健康診断を受け、競技会への参加に支障がない者であること。
- (ウ) ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

ケ 上記のほか、監督については日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、監督が不在の場合選手は参加することができない。各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

(2) 所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア 成年種別

- (ア) 居住地を示す現住所
- (イ) 勤務地
- (ウ) ふるさと（別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

イ 少年種別

- (ア) 居住地を示す現住所
- (イ) 「学校教育法」第1条に規定する学校の所在地（以下「学校所在地」という。）
- (ウ) 勤務地
- (エ) 別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校

の所在地

※ 「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、2025年4月30日以前から本大会終了時（2025年10月8日）まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、または通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

[成年種別]

- a 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- b 別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

[少年種別]

- a 別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」の適用を受ける者
- b 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- d 別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

(3) 選手の年齢基準

ア 選手の年齢基準については、下記を原則とする。

(ア) 成年種別に参加する者は、2007年4月1日以前に生まれた者とする。

(イ) 少年種別に参加する者は、2007年4月2日から2010年4月1日までに生まれた者とする。

(ウ) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、2025年4月1日を基準とする。

イ 日本スポーツ協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学3年生（2010年4月2日から2011年4月1日までに生まれた者）とする。

(4) 前記の各事項に疑義のあるときは、日本スポーツ協会および当該競技団体が調査・審議のうえ、日本スポーツ協会がその可否を決定する

6 各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

(1) 次のア、イの得点を合計したものを男女総合成績（天皇杯得点）および女子総合成績（皇后杯得点）とする。

ア 競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第1位から第8位までの都道府県に与え、次のとおりとする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第3位以下を切り捨てる。

		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位
種別	4 人以下	24 点	21 点	18 点	15 点	12 点	9 点	6 点	3 点
	5 人以上 7 人以下	40 点	35 点	30 点	25 点	20 点	15 点	10 点	5 点
	8 人以上	64 点	56 点	48 点	40 点	32 点	24 点	16 点	8 点
種目	—	8 点	7 点	6 点	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点

〔注〕 「種別」：種別などに与える競技得点 「種目」：種目などに与える競技得点

イ 参加得点

参加得点は 10 点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

(2) 各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。

ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。

(3) 参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民スポーツ大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

7 表彰

(1) 冬季大会および本大会で実施した全正式競技の男女総合成績第 1 位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第 1 位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。

(2) 冬季大会および本大会で実施した全正式競技の男女総合成績および女子総合成績の第 1 位から第 8 位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

(3) 各正式競技の男女総合成績第 1 位の都道府県に、国民スポーツ大会会長トロフィーを授与する。

(4) 各正式競技の男女総合成績および女子総合成績の第 1 位から第 8 位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

(5) 各競技の各種別および各種目などの第 1 位から第 8 位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものを都道府県用に 1 枚、さらにその都道府県名と個人名を記載したもの、または都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

8 参加申込方法

(1) 参加申込

都道府県スポーツ協会会長（代表者）および競技団体会長（代表者）は、連署の上、都道府県大会またはブロック大会において選抜された者および公益財団法人日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長宛に申込みものとする。

(2) 参加申込締切

参加申込は、定められた締切日までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。なお各競技別実施要項の「参加申込方法」を併せて確認すること。

(3) 参加申込締切日

締 切 日	競 技
2025 年 8 月 20 日 (水) 【12 競技】	水泳、ローイング、バレーボール（ビーチバレーボール）、体操、レスリング、セーリング、自転車、相撲、カヌー、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン
2025 年 9 月 4 日 (木) 【27 競技】	陸上競技、サッカー、テニス、ホッケー、ボクシング、バレーボール（6人制）、バスケットボール、ウエイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、高等学校野球

(4) 参加申込様式

参加申込様式は、日本スポーツ協会が実施競技団体と協議の上、作成する。

(5) 公開競技の参加申込

公開競技については、別途当該中央競技団体が定める所定の手続きにより行う。

(6) 選手の交代

参加申込締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、所定の様式、方法により次のア～ウ宛に届け出なければならない。

ア 全国を統轄する各中央競技団体事務局

イ わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局

ウ わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ各競技会場地市町実行委員会事務局

なお、日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

9 棄権手続

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続きをとらなければならない。

なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

10 大会参加負担金

(1) 大会に参加選手団（視察員を除く）を派遣する都道府県スポーツ協会は、大会参加負担金を納入する。一人当たりの大会参加負担金の額は下記のとおりとする。

区 分	負 担 金
少年の種別に参加する選手	3, 0 0 0 円
上記以外の者（本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等）	6, 0 0 0 円

〔注〕 地震、風水害、感染症およびその他主催者の責によらない事由により大会を中止した場合、大会参加負担金の返金を行わない。

(2) 大会参加負担金は、都道府県スポーツ協会に取りまとめ、次のとおり納入する。

ア 納入期限 2025 年 9 月 5 日（金）

イ 納入先 みずほ銀行 渋谷支店 普通預金口座 513729
公益財団法人日本スポーツ協会

11 宿泊申込

大会参加者は、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込む。

12 都道府県選手団本部役員編成

- (1) 都道府県選手団本部役員は、次のとおりとする。
 - ア 参加選手 500 名以上の場合、団長、総監督および総務ほか、計 20 名以内とする。
 - イ 参加選手 300 名以上 500 名未満の場合、団長、総監督および総務ほか、計 15 名以内とする。
 - ウ 参加選手 300 名未満の場合、団長、総監督および総務ほか、計 10 名以内とする。
- (2) 上記役員のほか、5 名以内の顧問を設けることができる。
- (3) 上記(1)および(2)による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。
なお、帯同するスポーツドクターは日本スポーツ協会公認スポーツドクター資格を有する者とする。
- (4) 上記(1)および(2)による本部役員総数の範囲内で、原則としてアスレティックトレーナーを帯同するものとする。
なお、帯同するアスレティックトレーナーは日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を有する者とする。
- (5) 都道府県選手団本部役員の 1 日あたりの編成人数については、上記(1)および(2)による人数を上限とする。
- (6) 都道府県選手団本部役員の参加申込は、2025 年 9 月 4 日（木）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

13 視察員

- (1) 視察員は、1 都道府県 3 名以内とする。ただし、2026 年以降の国民スポーツ大会の開催が決定または内定している県については、青森県 100 名以内、宮崎県および長野県 60 名以内、群馬県および島根県 40 名以内とする。
- (2) 都道府県の視察員の参加申込は、2025 年 9 月 4 日（木）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

14 AD カードの交付

都道府県選手団、公開競技に参加する選手・監督および役員、大会役員・競技会役員および競技団体が指定した競技役員、大会主催者および競技会主催者が認めた者には AD カード（Accreditation Card）を交付する。

15 参加上の注意

- (1) 大会期間中は、交付された AD カードを携帯しなければならない。
- (2) 各都道府県の代表選手は、競技に際し、「国民スポーツ大会ユニフォーム規程」に基づき、ユニフォームを着用しなければならない。

16 個人情報および肖像権に関わる取り扱い

日本スポーツ協会、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ各競技会場地市町実行委員会および国民スポーツ大会実施競技中央競技団体（以下「国スポ関係機関・団体」という。）は、参加申込等を通じて取得する個人情報および肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応するものとする。

(1) 個人情報の取り扱い

ア 利用目的

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国スポ関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

イ 公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属都道府県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

(ア) 総合プログラムおよび競技別プログラムへの掲載

(イ) 競技会場内におけるアナウンス等による紹介

(ウ) 競技会場内外の掲示板等への掲載

(エ) 大会関連ホームページへの掲載

(オ) 報道機関への提供

ウ 競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記イで定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

(ア) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会が設置する記録本部を通じた公開

(イ) 国スポ関係機関・団体および報道機関等による新聞・雑誌および関連ホームページ等への掲載

(ウ) 国スポ関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載

(エ) 次回以降の大会プログラムへの掲載【新記録、優勝および上位入賞結果（記録）等】

(2) 肖像権に関する取り扱い

ア 写真

国スポ関係機関・団体またはこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書および関連ホームページ等で公開されることがある。

イ 写真（写真撮影企業等）

国スポ関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。

なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

ウ 映像

国スポ関係機関・団体またはこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映およびインターネットによって配信されることがある。また、DVD 等に編集され、販売・配付されることがある。

(3) 対応

ア 承諾の確認

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、当該中央競技団体等によって個別に承諾を確認することがある。

イ 役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、国スポ関係機関・団体と大会に関する契約をしている者および大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

17 都道府県大会およびブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

- (1) 都道府県の主催団体は、必要に応じて日本スポーツ協会および中央競技団体等関係団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。

なお、日本スポーツ協会および中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。

- (2) 都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。

- (3) 参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申込み。

なお、参加は1人1競技に限る。

- (4) ブロック大会の申込みは、原則として国民スポーツ大会参加申込システムにより行い、様式は日本スポーツ協会および当該主催団体が協議の上、作成する。

なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において別途作成する。

- (5) 都道府県大会の参加申込様式は、当該主催団体において作成する。

- (6) 参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。

- (7) 競技運営に差し支えない限り、滋賀県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

18 国民スポーツ大会参加者傷害補償制度

日本スポーツ協会および都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民スポーツ大会参加者傷害補償制度を運営する。

- (1) 本制度の対象となる参加者は、ブロック大会および本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員（顧問を含む）、視察員ならびにその他選手団役員とする。

- (2) 大会参加の都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（一人あたり1,000円）を、日本スポーツ協会に納入する。

- (3) 納入締切日および納入先については、別途日本スポーツ協会から都道府県スポーツ協会へ

通知する。

19 わた SHIGA 輝く国スポの取組

(1) 環境に配慮した大会の実施

スポーツの楽しさや感動を分かち合うとともに、滋賀県に受け継がれている身の回りの生活から自然環境を考える取組を県民や企業、大会に関わるすべての参加者が実践することで、「人と人、人と地域、人と自然」の繋がりを深めることができるよう取り組む。

(2) おもてなしと滋賀の魅力発信

豊かな自然や歴史、文化、芸術、祭り、伝統芸能、特産品などの地域資源、湖上スポーツをはじめとした滋賀ならではのスポーツ環境など、滋賀の魅力を発信し、来県者が滋賀での滞在を楽しむことができるよう取り組む。

(3) 誰もが主役として輝ける取組の推進

年齢や性別、障害の有無などを問わず、誰もが一層身近にスポーツを楽しむことができる環境をつくり、誰もがボランティアや大会関連行事等に積極的に参加できる環境をつくるなど、それぞれのスタイルで「する」「みる」「支える」の体験ができる大会となるよう取り組む。

20 その他

(1) 参加申込および宿泊申込が、定められた締切日までに行われない場合、または、参加負担金が定められた納入期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。

(2) 大会運営にあたり、選手・観客・大会関係者への安全を最優先に配慮し、気象状況・感染状況・交通状況・テロ行為等の各種災害に伴い、安全確保が見込めないと主催者が判断した場合は、主催者の指示に従うものとする。また、安全確保のために、参加申込システムに登録された以外の個人情報を取得する場合がある。取得した情報については、目的以外に利用しない。

(3) その他の事項については、国民スポーツ大会開催基準要項および同細則による。

別記 1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」

- 1 成年種別年齢域の選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号および第10項第4号（参加資格および年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。
 - (1) 居住地を示す現住所
 - (2) 勤務地
 - (3) ふるさと
- 2 「ふるさと」とは、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOC エリートアカデミーに係る選手については、別に定める「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第3項により取り扱うものとする。
- 3 我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者および「永住者」については、日本における滞在期間に関わらず、本制度を活用できるものとする。ただし、「日本国籍を有する者および『永住者』」に該当しない者であっても、当該大会年の4月30日（冬季大会は前年の4月30日）以前から本大会終了時（冬季大会は各競技会終了時）まで継続的に日本に滞在している場合は、本制度を活用できるものとする。なお、やむを得ない事情により、一時的に日本を離れる場合は、総日数の半数を超えて日本で滞在していること。
- 4 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。
- 5 「ふるさと」から参加する選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。
- 6 ふるさと選手制度の活用については、原則として、1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回までとする。
- 7 参加都道府県は「ふるさと選手」を所定の様式、方法により、当該大会実施要項で定めた参加申込締切期日までに、日本スポーツ協会宛に提出する。

別記2 「『一家転住等』に伴う特例措置」

転校への特例

- 1 次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1－③）に抵触しないものとする。
 - (1) この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。
 - (2) 本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。
なお「一家転住等」とは概ね次のことを言う。
 - ア 親の転勤による一家の転居
 - イ 親の結婚、離婚による一家の転居
 - ウ 上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居
 - (3) 転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。
 - ア 本特例を受けようとする参加者は、下記2(1)の場合は転居元、下記2(2)の場合は転居先が属する都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。
 - イ 報告を受けた都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体は、下記2(1)の場合は転居先、下記2(2)の場合は転居元が属する都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。
- 2 本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。
 - (1) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合
 - イ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合
 - ウ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合
 - (2) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

別記3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、下記1に該当する者については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号および第10項第4号（参加資格および年齢基準等）〕および別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」に関し、次の2～4の特例を適用する。

1 対象者

- (1) 少年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーに在籍する者
- (2) 成年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者

2 少年種別年齢域の選手の所属都道府県

本特例第1項－(1)に定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－2)－②に定める「居住地を示す現住所」、「学校教育法第1条に規定する学校の所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

3 成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

本特例第1項－(2)に定める成年種別年齢域の選手は、別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」第2項に定める卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、同アカデミーでの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

4 国内移動選手の制限に係る例外適用

本特例第1項－(1)に定める少年種別年齢域の選手が前回の大会（都道府県大会を含む）と異なる都道府県から参加する場合、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

[注] 本特例第1項－(2)に定める成年種別年齢域の選手については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）の規定に従い取り扱うものとする。

5 その他

中央競技団体が国際競技力向上施策として独自に実施するアカデミー事業については、当該中央競技団体からの申請を踏まえ、当該事業の内容が JOC エリートアカデミーに準拠し実施されていることが、公益財団法人日本オリンピック委員会により確認された場合に限り、当該事業を本特例の対象に加えることができる。

別記4 「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。

1 特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- (1) 第33回オリンピック競技大会（2024年・パリ）に参加した者。
- (2) 2025年4月30日時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者

ア JOC オリンピック強化指定選手

イ 各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者

ウ 中央競技団体が定めた強化指定選手

※ 強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

2 特例の内容

(1) 予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会およびブロック大会を経ずに国民スポーツ大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手またはチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

(2) 資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」または「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア 居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

- a 自ら所有する住居、または自らの名義で住居を賃借していること
- b 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること
- c 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること
- d 当該住居に主要な家財道具が存すること

- (イ) 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

イ 勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。
- (イ) 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

3 国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③のとおりとする。

別記5 「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の6県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2011年3月11日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、2023年開催の特別大会または第78回大会に当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2011年3月11日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2025年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者について

は、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第 78 回大会または第 79 回大会に参加した者が、第 80 回大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

＜例＞ ○ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○ 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合

○ 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2011年度から2012年度（小学校は2015年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

別記6 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、新潟県、富山県、石川県、福井県の4県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2024年1月1日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2025年4月30日以前から当該大会終了時（2025年10月8日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、2023年開催の特別大会または第78回大会に、当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2024年1月1日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2025年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

〔注〕 「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学して

いる実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第 78 回大会または第 79 回大会に参加した者が、第 80 回大会において、以下のような震災に係る理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

- ＜例＞
- 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合
 - 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合
 - 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2024年度から2025年度（小学校は2028年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

実 施 要 項

1 期 日 2025 年 9 月 29 日（月）から 10 月 2 日（木）まで（4 日間）

種 別	9 月 29 日（月）	9 月 30 日（火）	10 月 1 日（水）	10 月 2 日（木）
成年男子	1 回 戦	2 回 戦	準々決勝 準 決 勝 5～8 位決定 1 回戦	決 勝 3～8 位決定戦 表彰式
成年女子	1 回 戦	2 回 戦	準々決勝 準 決 勝 5～8 位決定 1 回戦	決 勝 3～8 位決定戦 表彰式
少年男子	1 回 戦	2 回 戦 3 回 戦	準々決勝 準 決 勝 5～8 位決定 1 回戦	決 勝 3～8 位決定戦 表彰式
少年女子	1 回 戦	2 回 戦 3 回 戦	準々決勝 準 決 勝 5～8 位決定 1 回戦	決 勝 3～8 位決定戦 表彰式

2 会 場 大津市（成年男子・成年女子・少年男子・少年女子）

大津市大石緑地スポーツ村テニスコート 砂入り人工芝 24 面

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	チーム数	選手計	合計（人）
成年男子	2	2	32	64	410
成年女子		2	32	64	
少年男子		2	47	94	
少年女子		2	47	94	

（注） 選手・監督の兼任はできない。

（注） 監督は参加申込みの際に担当種別を入力しなければならない。

（注） 2 会場開催の際、3 種別以上参加の都道府県は、監督を両会場に 1 名ずつ配置しなければならない。

4 競技上の規程及び方法

- （1） 競技規則は、公益財団法人日本テニス協会発行「JTA テニスルールブック 2025」を適用する。
- （2） 競技は、各種別それぞれ 3 ポイント（単 2・複 1）とし、その勝敗は獲得したポイント数の多少によって決める。
- （3） 競技は、各種別とも都道府県対抗のトーナメント方式で行う。
- （4） 試合はすべて 8 ゲームズプロセット、ノーアドバンテージ方式とする。
- （5） 試合は、1 回戦より勝敗決定後に打ち切る。

5 予選方法

- (1) 各都道府県協会は、都道府県大会を実施し、種別ごとにブロック大会及び本大会に出場する代表チームを決定する。(ブロック大会及び本大会出場選手の順位は、都道府県予選大会の順位による。)
- (2) ブロック大会の主管協会は、本大会実施要項に準じてブロック大会を実施し、本大会に出場する代表チーム及び監督・選手を決定する。
- (3) ブロック大会の開催期日・会場は、各主管協会から通知する。
- (4) ブロック大会区分及び代表チーム数は、下記のとおりとする。

ブロック名	都 道 府 県 名	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子
北海道	北海道	1	1	1	1
東 北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	3	3	6	6
関 東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	6	7	8	8
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	3	2	5	5
東 海	静岡、愛知、三重、岐阜	2	3	4	4
近 畿	京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	4	4	5	5
中 国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	3	4	5	5
四 国	香川、徳島、愛媛、高知	3	2	4	4
九 州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	6	5	8	8
開催県	滋賀	1	1	1	1
計		32	32	47	47

- (5) ブロック大会の申込み及び問合せ場所

ブロック名	所 在 地	担当協会
北海道	〒062-0905 北海道札幌市豊平区豊平五条十一丁目1番1号 北海道立総合体育センター内	北海道テニス協会
東 北	〒971-8131 福島県いわき市常磐上矢田町磐ノ作43番地の24 グリーンハイツ103号室	東北テニス協会
関 東	〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷一丁目1番2号 朝日生命幡ヶ谷ビル2F	関東テニス協会
北信越	〒939-2376 富山県富山市八尾町福島93番地	北信越テニス協会
東 海	〒464-0836 愛知県名古屋市中千種区菊坂町二丁目2番地 シャトレタカギ3A	東海テニス協会
近 畿	〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町二丁目1番14号 靱テニスセンター内	関西テニス協会
中 国	〒732-0052 広島県広島市東区光町二丁目9番30号 竹本ビル3階305号	中国テニス協会
四 国	〒790-0031 愛媛県松山市雄郡二丁目9番25号 第1石原ビル106号	四国テニス協会
九 州	〒810-0022 福岡県福岡市中央区薬院二丁目14番26号 東洋薬院ビル5F	九州テニス協会

6 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則 5 に定めるもののほか、次による。

- (1) 公益財団法人日本テニス協会の登録選手（一般、プロフェッショナル）若しくは、都道府県テニス協会及び傘下組織に登録した選手であること。
- (2) 少年種別に参加できる選手には、2010 年 4 月 2 日から 2011 年 4 月 1 日までの間に生まれた中学 3 年生を含むものとする。
- (3) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認テニスコーチ 2、公認テニスコーチ 3、公認テニスコーチ 4、公認テニス教師、公認テニス上級教師のいずれかの資格を有する者であること。（教師は JPTA 資格保有者も含む）
- (4) 参加資格や年齢基準の解釈については、公益財団法人日本スポーツ協会ホームページを参照すること。

7 総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1) 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競 技 得 点
成 年 男 子 成 年 女 子 少 年 男 子 少 年 女 子	成 年 女 子 少 年 女 子	各種別とも 1 位 24 点、2 位 21 点、3 位 18 点、4 位 15 点、5 位 12 点、6 位 9 点、7 位 6 点、8 位 3 点の競技得点を与える。 ただし、同順位の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。なお、得点は次の順位のを加え、当該都道府県で等分する。

(2) 参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に 10 点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

8 表 彰

- (1) 男女総合成績及び女子総合成績第 1 位から第 8 位までの都道府県に、表彰状を授与する。
- (2) 男女総合成績第 1 位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。
- (3) 各種別の第 1 位から第 8 位までに、賞状を授与する。
- (4) 上記の各第 1 位から第 8 位の都道府県選手団は、本稿 12 その他(7)に表記の表彰式には必ず参列のこと。

9 参加申込み方法

総則 8 に定めるもののほか、次による。

- (1) 所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県スポーツ協会を通じて、2025 年 9 月 4 日（木）までに申込み手続きを完了すること。

- (2) 締切期限以降は所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。
- (3) 参加申込み締切後の選手・監督の変更は、疾病、傷害等の特別な場合にのみ認めるものとし、都道府県予選の順位結果が確認できる資料を必ず添付すること。なお、その取り扱いについては次のとおりとする。

ア 提出期日 2025 年 9 月 27 日（土）の代表者・監督会議まで

イ 提出先

- (ア) 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4 番 2 号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 7F
公益財団法人日本テニス協会
TEL 03-6812-9271 FAX 03-6812-9275
- (イ) 〒520-0807 滋賀県大津市松本一丁目 2 番 1 号
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局
（滋賀県国スポ・障スポ大会局 競技運営室 競技第一係）
TEL 077-528-3324 FAX 077-528-4836
MAIL kokusupo-sanka@pref.shiga.lg.jp
- (ウ) 〒520-0805 滋賀県大津市石場 10 番 53 号
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会事務局
（大津市国スポ・障スポ大会局 大会競技課）
TEL 077-528-0310・0320 FAX 077-522-7766
MAIL koku-spo.tennis@city.otsu.lg.jp

なお、(イ)(ウ)については、原則メールにて提出とする。また、公益財団法人日本スポーツ協会に対しては、上記への提出後、別途、所定の手続きにより、参加申込み情報を修正すること。

10 連絡方法

参加上の連絡事項等の郵送及び FAX 等は、各都道府県テニス協会あてに行うものとする。

11 参加上の注意

- (1) ドロー番号の若いチームの選手は、都道府県名が分かるようにするため、プレー中には第三者からよく見え、且つ、プレーの妨げにならない場所（シャツ・ワンピースの場合は上着部分）に赤いリボンをつけること。なお、赤いリボンは開催地にて用意する。
- (2) プレー中の選手及びベンチコーチの服装及び用具は、JTA テニスルールブック 2025「コードオブコンダクト」によるほか、次のとおりとする。
テニスウェアとする。（ただし、チーム対抗戦の特例として、国民スポーツ大会競技の時のみ、都道府県スポーツ協会及び都道府県テニス協会が支給するユニフォームは、いかなるものでもその着用が認められる。）
- (3) サスペンションポイント制度を「JTA テニスルールブック 2025」に則り適用する。

12 その他

- (1) 使用ボールは、DUNLOP フォート（公益財団法人日本テニス協会公認ボール）とする。
- (2) 代表者・監督会議及び表彰式に参加する選手・監督の服装は、都道府県スポーツ協会支

給のユニフォームとする。

なお、代表者・監督会議及び表彰式は公式行事でありコードオブコンダクトを適用する。

(3) 天候その他により、日程及び競技方法を変更する場合もある。

(4) 公式練習は 2025 年 9 月 27 日（土）とする。

(5) 組合せ抽選会

日 時 2025 年 9 月 5 日（金） 午後 3 時

場 所 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 内会議室

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4 番 2 号

TEL 03-6812-9271 FAX 03-6812-9275

(6) 代表者・監督会議

日 時 2025 年 9 月 27 日（土） 午後 5 時

場 所 びわ湖大津プリンスホテル

〒520-8520 滋賀県大津市におの浜四丁目 7 番 7 号

TEL 077-521-1111 FAX 077-521-1110

（注）本会議には、各チーム代表者は必ず出席すること。

また、提出した参加申込みファイルの写しを持参すること。

(7) 表彰式

日 時 2025 年 10 月 2 日（木） 競技終了後（全種別）

場 所 大石緑地スポーツ村テニスコート

〒520-2262 滋賀県大津市大石淀一丁目 3 番 32 号

TEL 077-546-6369 TEL 077-546-6383

競 技 会 日 程

月 日	内 容	時 間	会 場
9/27(土)	公式練習	9:00 ～ 16:30	大石緑地スポーツ村テニスコート
	代表者・監督会議	17:00 ～ 18:00	びわ湖大津プリンスホテル
9/29(月)	公式練習	8:20 ～ 8:50	大石緑地スポーツ村テニスコート
	試合開始	9:00 ～	
	練習コート開放	9:00 ～ 16:30	皇子が丘公園テニスコート 龍谷大学瀬田キャンパステニスコート
9/30(火)	公式練習	8:20 ～ 8:50	大石緑地スポーツ村テニスコート
	試合開始	9:00 ～	
	練習コート開放	9:00 ～ 16:30	皇子が丘公園テニスコート
		13:30 ～ 16:30	龍谷大学瀬田キャンパステニスコート
10/1(水)	公式練習	8:20 ～ 8:50	大石緑地スポーツ村テニスコート
	試合開始	9:00 ～	
10/2(木)	公式練習	8:20 ～ 8:50	大石緑地スポーツ村テニスコート
	試合開始	9:00 ～	
	種別表彰式・総合表彰式	14:00 ～ (予定)	大石緑地スポーツ村 多目的広場



テニス競技

大津市

競技日程

代表者・監督会議	9月27日（土）17時00分	会場：びわ湖大津プリンスホテル
----------	----------------	-----------------

会場：大石緑地スポーツ村テニスコート（砂入り人工芝24面）

9月29日（月）	9月30日（火）	10月1日（水）	10月2日（木）
成年男子 1回戦 9:00 (4試合) 成年男子 1回戦 F.B (12試合)	成年男子 2回戦 9:00 (8試合)	成年男子 準々決勝 9:00 成年男子 準決勝 F.B 成年男子 5～8位 F.B (8試合)	成年男子 決勝戦 9:00 成年男子 3～4位 9:00 成年男子 5～6位 9:00 成年男子 7～8位 9:00 (4試合)
成年女子 1回戦 9:00 (5試合) 成年女子 1回戦 F.B (11試合)	成年女子 2回戦 F.B (8試合)	成年女子 準々決勝 9:00 成年女子 準決勝 F.B 成年女子 5～8位 F.B (8試合)	成年女子 決勝戦 9:00 成年女子 3～4位 9:00 成年女子 5～6位 9:00 成年女子 7～8位 9:00 (4試合)
少年男子 1回戦 F.B (15試合)	少年男子 2回戦 9:00 (16試合) 少年男子 3回戦 F.B (8試合)	少年男子 準々決勝 9:00 少年男子 準決勝 F.B 少年男子 5～8位 F.B (8試合)	少年男子 決勝戦 9:00 少年男子 3～4位 9:00 少年男子 5～6位 9:00 少年男子 7～8位 9:00 (4試合)
少年女子 1回戦 9:00 (15試合)	少年女子 2回戦 F.B (16試合) 少年女子 3回戦 F.B (8試合)	少年女子 準々決勝 9:00 少年女子 準決勝 F.B 少年女子 5～8位 F.B (8試合)	少年女子 決勝戦 9:00 少年女子 3～4位 9:00 少年女子 5～6位 9:00 少年女子 7～8位 9:00 (4試合)

※F.B (Followed by) 前試合に引き続き開始

総合表彰式・種別表彰式	10月2日（木） 14時00分（予定）	会場：大石緑地スポーツ村多目的広場
-------------	---------------------	-------------------

テニス競技 組合せ表

【 成 年 男 子 】

会場：大石緑地スポーツ村テニスコート

都道府県名	9月29日	9月30日	10月1日		10月2日	10月1日		9月30日	9月29日	都道府県名
	1回戦	2回戦	準々決勝	準決勝	決 勝	準決勝	準々決勝	2回戦	1回戦	
① 1 滋 賀 県										宮 崎 県 17 ⑥
2 長 崎 県										山 梨 県 18
3 徳 島 県										福 島 県 19
4 熊 本 県										神 奈 川 県 20
5 石 川 県										北 海 道 21
6 島 根 県										岡 山 県 22
7 新 潟 県										茨 城 県 23
⑦ 8 静 岡 県										東 京 都 24 ③
④ 9 福 井 県										埼 玉 県 25 ⑤
10 兵 庫 県										京 都 府 26
11 和 歌 山 県										鹿 児 島 県 27
12 福 岡 県										千 葉 県 28
13 大 阪 府										大 分 県 29
14 秋 田 県										広 島 県 30
15 香 川 県										三 重 県 31
⑧ 16 宮 城 県										愛 媛 県 32 ②
<div>順位決定戦 (10月1日)</div> <div> <div>1～8</div> <div>9～16</div> <div>17～24</div> <div>25～32</div> </div> <div>(10月2日)</div> <div> <div>7・8位決定戦</div> <div>5・6位決定戦</div> <div>3・4位決定戦</div> </div>										
【シード順位】 ①滋賀県 ②愛媛県 ③東京都 ④福井県 ⑤埼玉県 ⑥宮崎県 ⑦静岡県 ⑧宮城県										

テニス競技 組合せ表

【 成 年 女 子 】

会場：大石緑地スポーツ村テニスコート

都道府県名	9月29日	9月30日	10月1日		10月2日	10月1日		9月30日	9月29日	都道府県名
	1回戦	2回戦	準々決勝	準決勝	決 勝	準決勝	準々決勝	2回戦	1回戦	
① 1 滋 賀 県										東 京 都 17 ⑤
2 福 岡 県										愛 知 県 18
3 愛 媛 県										兵 庫 県 19
4 静 岡 県										宮 崎 県 20
5 大 分 県										栃 木 県 21
6 大 阪 府										石 川 県 22
7 奈 良 県										岡 山 県 23
⑧ 8 島 根 県										千 葉 県 24 ④
③ 9 群 馬 県										福 島 県 25 ⑦
10 北 海 道										埼 玉 県 26
11 山 梨 県										宮 城 県 27
12 香 川 県										山 口 県 28
13 鹿 児 島 県										神 奈 川 県 29
14 青 森 県										三 重 県 30
15 新 潟 県										広 島 県 31
⑥ 16 京 都 府										佐 賀 県 32 ②
<div> <div>順位決定戦 (10月1日)</div> <div>(10月2日)</div> <div>7・8位決定戦</div> <div>5・6位決定戦</div> <div>3・4位決定戦</div> </div> <div> <div>1～8</div> <div>9～16</div> <div>17～24</div> <div>25～32</div> </div>										
<div>【シード順位】</div> <div>①滋賀県 ②佐賀県 ③群馬県 ④千葉県 ⑤東京都 ⑥京都府 ⑦福島県 ⑧島根県</div>										

テニス競技 組合せ表

【 少 年 男 子 】

会場：大石緑地スポーツ村テニスコート

都道府県名	9月29日	9月30日		10月1日		10月2日	10月1日		9月30日		9月29日	都道府県名
	1回戦	2回戦	3回戦	準々決勝	準決勝	決 勝	準決勝	準々決勝	3回戦	2回戦	1回戦	
① 1 三 重 県												福 井 県 25 ⑦
2 奈 良 県												新 潟 県 26
3 福 島 県												沖 縄 県 27
4 富 山 県												秋 田 県 28
5 石 川 県												岡 山 県 29
6 兵 庫 県												徳 島 県 30
7 熊 本 県												埼 玉 県 31
8 栃 木 県												山 形 県 32
9 愛 媛 県												広 島 県 33
10 鹿児島県												佐 賀 県 34
11 和歌山県												青 森 県 35
⑤ 12 香 川 県												大 分 県 36 ③
④ 13 千 葉 県												東 京 都 37 ⑧
14 宮 城 県												愛 知 県 38
15 大 阪 府												岩 手 県 39
16 福 岡 県												北 海 道 40
17 岐 阜 県												宮 崎 県 41
18 茨 城 県												滋 賀 県 42
19 高 知 県												長 野 県 43
20 群 馬 県												B Y E 44
21 長 崎 県												鳥 取 県 45
22 京 都 府												静 岡 県 46
23 山 口 県												島 根 県 47
⑥ 24 山 梨 県												神奈川県 48 ②
<div> <div>順位決定戦 (10月1日)</div> <div>(10月2日)</div> <div>7・8位決定戦</div> <div>5・6位決定戦</div> <div>3・4位決定戦</div> </div> <div> <div>1～12</div> <div>13～24</div> <div>25～36</div> <div>37～48</div> </div>												
【シード順位】 ①三重県 ②神奈川県 ③大分県 ④千葉県 ⑤香川県 ⑥山梨県 ⑦福井県 ⑧東京都												

テニス競技 組合せ表

【 少 年 女 子 】

会場：大石緑地スポーツ村テニスコート

都道府県名	9月29日	9月30日		10月1日		10月2日	10月1日		9月30日		9月29日	都道府県名
	1回戦	2回戦	3回戦	準々決勝	準決勝	決 勝	準決勝	準々決勝	3回戦	2回戦	1回戦	
① 1 宮 城 県												広島県 25 ⑧
2 兵 庫 県												愛 知 県 26
3 和歌山県												大 分 県 27
4 青 森 県												岩 手 県 28
5 佐 賀 県												東 京 都 29
6 徳 島 県												高 知 県 30
7 山 梨 県												福 岡 県 31
8 B Y E												群 馬 県 32
9 静 岡 県												栃 木 県 33
10 宮 崎 県												富 山 県 34
11 新 潟 県												滋 賀 県 35
⑤ 12 福 井 県												大 阪 府 36 ③
④ 13 沖 縄 県												神奈川県 37 ⑦
14 岐 阜 県												鹿 児 島 県 38
15 奈 良 県												島 根 県 39
16 山 形 県												京 都 府 40
17 熊 本 県												千 葉 県 41
18 長 野 県												石 川 県 42
19 鳥 取 県												長 崎 県 43
20 福 島 県												茨 城 県 44
21 岡 山 県												愛 媛 県 45
22 埼 玉 県												三 重 県 46
23 香 川 県												秋 田 県 47
⑥ 24 北 海 道												山 口 県 48 ②
<div> <div>順位決定戦 (10月1日)</div> <div>(10月2日)</div> <div>7・8位決定戦</div> <div>5・6位決定戦</div> <div>3・4位決定戦</div> </div> <div> <div>1～12</div> <div>13～24</div> <div>25～36</div> <div>37～48</div> </div>												
【シード順位】 ①宮城県 ②山口県 ③大阪府 ④沖縄県 ⑤福井県 ⑥北海道 ⑦神奈川県 ⑧広島県												

表彰式次第

【種別表彰式・総合表彰式】

日時：2025 年 10 月 2 日（木）14 時 00 分予定

会場：大石緑地スポーツ村 多目的広場

次第		時刻	時間
	選手集合	13:50	
1	開式通告	14:00	1 分
2	種別成績発表	14:01	3 分
3	賞状授与	14:04	23 分
4	総合成績発表	14:27	3 分
5	表彰状授与・大会会長トロフィー授与	14:30	12 分
6	競技会会長あいさつ	14:42	3 分
7	歓送のことば	14:45	3 分
8	次期開催地関係者挨拶	14:48	3 分
9	諸旗降納（儀礼）	14:51	2 分
10	国旗降納（儀礼）	14:53	2 分
11	競技会終了宣言・閉式通告	14:55	3 分
12	感謝状・記念品贈呈	14:58	2 分
13	終了・解散	15:00	

テニス競技の見方

1 国スポ（国民スポーツ大会）とは

(1) 概要

第2次世界大戦後の、荒廃していた日本を、物心共に復興させるための手段の1つとして、1946年（昭和21年）に始まった国をあげてのスポーツイベントです。都道府県持ち回りで開催（ときには複数県で共催）され、テニス競技は第3回福岡大会（1948年）から採用されました。第43回京都大会（1988年）から2巡目に入りました。

第78回佐賀大会で国民体育大会が国民スポーツ大会に名称が変わりました。

(2) 試合の種別と形式

種別は、成年男子・成年女子・少年男子・少年女子の4種別です。試合は都道府県対抗戦で行われ、1対抗戦3試合のうち2試合に勝てば勝利、という形式で行われます。

会場内の試合案内板やプログラム等に発表される試合日程には、次のような記号が用いられています。

S 1 シングルス No. 1
S 2 シングルス No. 2
D ダブルス

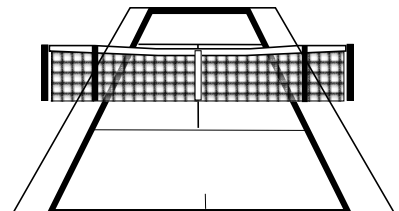
対抗戦の試合順序は、シングルス No. 1 → シングルス No. 2 → ダブルスの順で行われます。ただし、対抗戦の勝敗がシングルス No. 1 と No. 2 で決定した場合はダブルスを行いません。

2 テニスとは

(1) テニスというゲーム

テニスというのは、「平地に線を引いて、ある区画を作り（コート）、その区画の真ん中にネットを張り、プレーヤーはネットをはさんで反対側に立ち、ボールをラケットで交互に1回ずつ、ワンバウンド（車椅子テニスではツーバウンド）以内で打ち合う」というゲームで、先に打つ方を「サーバー」、次に打つ方を「レシーバー」といいます。

図A

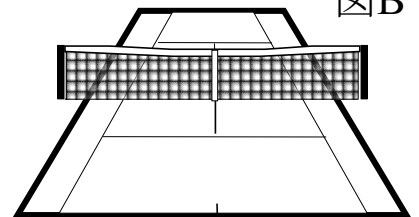


(2) シングルスとダブルス

シングルスは、1人対1人で行う試合方式です。シングルスもダブルスも同じコートを使用しますが、シングルスでは、シングルス・スティックという細い棒を立て、図Aの太線で囲まれた部分がコートになります。

ダブルスは、2人対2人で行います。ダブルスでは、シングルス・スティックをはずし、図Bの太線で囲まれた部分がコートになります。

図B



(3) 試合方法

サーバーがまずサーブして試合は始まります。そして、レシーバーがそれを返球することによって、打ち合い（ラリーと言います）が始まります。このラリーは、どちらかのプレーヤーがネットを越して相手側のコート内へ返球できなくなったときに終わり、その瞬間にポイントは終了し、返球できなかったプレーヤーの失点（相手のプレーヤーの得点）となります。

(4) 試合に勝つには

試合の勝敗は、「ポイント（得点）」を取って「ゲーム」を取り、ゲームを取って「セット」を取り、セットを取って「ゲーム・セットアンドマッチ」になり勝者が決まるのが、一般的な手順です。

テニスは通常3セットマッチで行われますが、国スポでは限られた日程で数多くの試合をこなさなければならないため、8ゲームプロセット方式を採用しています。

8ゲームプロセット方式では、相手に2ゲーム以上の差をつけて、先に8ゲーム取った方が試合の勝者になります。もし、7ゲームオール（7-7）になったら、以後2ゲーム続けて取った方が勝者となり、スコアは9-7と記録されます。7-7以後、8ゲームオール（8-8）になった場合は、ここでタイブレーク・ゲームを行います。

（5）タイブレーク

タイブレーク・ゲームでは、相手より2ポイント以上の差をつけて、先に7ポイント取った方がそのゲームの勝者、即ち、そのセットの勝者（8ゲームプロセット方式ではその試合の勝者）になります。ただし、双方が6ポイントずつ（6-6）になったときは、その後、2ポイントの差がつくまでその試合は続けられることになります。決着がついた時点のゲームスコアは 7-6（8ゲームプロセット方式では9-8）と記録されます。

（6）スコアのアナウンス

必ずサーバー側のポイントを先にアナウンスします。

ゲーム中のポイントは、0ポイント：0 = Love（ラブ）

1ポイント：15 = Fifteen（フィフティーン）

2ポイント：30 = Thirty（サーティ）

3ポイント：40 = Forty（フォーティ）

また、双方が3ポイントずつ（40-40）になったときは、デュース（Deuce）」と呼ばれ、通常は、そのあとはどちらかが2ポイント続けて取るまでそのゲームが続けられます。しかし国スポでは、デュースになった場合、レシーバーが左右どちらのコートでレシーブするかを選択し、次のポイントを取ったプレーヤーの勝利となります。（ノーアドバンテージ方式）

タイブレーク・ゲーム中のポイントは、そのまま「ワン（One）」、「ツウ（Two）」とアナウンスし、0ポイントも「ラブ（Love）」ではなく「ゼロ（Zero）」とアナウンスします。

注）サービスノーレット方式

第79回滋賀大会では少年種目においては、サービスノーレット方式（サーブがネットに触れて入ってもやり直しはしないでプレーを続ける）を試験的に採用することになりました。

3 国スポテニス競技の見どころと観戦マナー

（1）審判

国スポでの審判は、1コート1名によるSCU（ソロ・チェア・アンパイア）方式が採用されます。このSCU方式というのは、アウトまたはフォールの判定はプレーヤー自身が行い、その他の一切の判定は審判が行うというものです。

そのため、SCU方式の試合を見ていると、プレーヤーが「アウト（または、フォールト）」とコールして、コートの外にボールが落ちたというゼスチャーをし、その直後に審判がスコアのアナウンスをしていることにお気づきになるでしょう。

（2）チームの識別

今、このコートでは、どこのチーム（都道府県）が試合をしているのかということは、コートに設置されているスコアボードを見れば容易にわかります。しかも、どちらがどのチームかということも識別できます。

スコアボードは上下2段になっており、上段ネームプレート枠には赤色マークが付けられていて、仮にそれが滋賀県チームだとすると、コート上の滋賀県チームのプレーヤーは、着衣の見えやすいところに必ず赤色のリボンをつけています。これで滋賀県チームがどちらかということが簡単にわかり、自動的に相手チームの識別もできることになります。

(3) 見どころ

国スポテニス競技会は個人戦ではなく、都道府県の代表によるチーム対抗戦です。出場するまでには厳しい予選を勝ち抜いてきており、プレーヤーは郷土の名誉を担い、代表の誇りをもって大会に臨んでいます。必然的にどの試合も厳しい戦いとなり、チームの勝利のため懸命になって戦う選手のプレーは、観戦者に深い感動を与えることでしょう。

(4) 観戦マナー (これだけは守ってください)

郷土のチームの戦いに対して、声を出し拍手を送るなどして、精一杯の応援を送りましょう。

ただし、以下に述べるマナーは、必ず守ってください。

1) 声援・拍手をするのは、ポイントが終わり次のポイントが始まるまでの間のみです。

コートで打ち合う球技は共通して、ラリー中の応援行為は禁止です。

2) 声援・拍手は、隣のコートに声がかぶったり、邪魔をしないよう気を配りましょう。

3) 相手チームの単純ミスには、声援・拍手をやめましょう。

4) ファインプレーや試合終了時には、敵味方なく大きな声援・拍手を送りましょう。

《 参加監督・選手一覧 》

1/4

2025年9月16日現在

(※印:ふるさと選手 ◎印:中学3年生)

地区	都道府県	成年男子		成年女子		少年男子		少年女子	
北海道	北海道	監	伊佐治 正 章	監	伊佐治 正 章	監	伊 藤 周 平	監	伊 藤 周 平
		1	橋 本 洸 矢	1	小 坂 麻 陽※	1	佐 藤 傑	1	小 澤 菜 陽
		2	首 藤 柚 嬉※	2	上 田 愛 梨※	2	塚 本 康 慈	2	牧 野 美 優
東 北	青 森 県			監	森 淳 子	監	越 善 隆	監	森 淳 子
				1	有 馬 果央子	1	佐々木 樹 季	1	高 橋 亜李沙
				2	天 羽 星 莉※	2	柿 崎 悠 樹	2	工 藤 帆 稀
	岩 手 県					監	高 橋 圭 滋	監	谷 地 隼 人
						1	中 村 匡 尚	1	襦 岩 那 愛
						2	森 岩 岳 琉	2	川 村 紗 慧◎
	宮 城 県	監	佐々木 洋	監	佐々木 洋	監	菅 原 宏 之	監	菅 原 宏 之
		1	菅 谷 優 作※	1	五十嵐 唯 愛※	1	千 葉 晴 太	1	早 坂 来麗愛
		2	佐 藤 駿 弥※	2	夜 野 光 莉※	2	大 友 好 誠◎	2	鈴 木 梨 愛
	秋 田 県	監	泉 茂			監	佐々木 啓	監	佐々木 啓
		1	野 坂 迅 ※			1	須 藤 奏 多	1	泉 桃 花
		2	原 田 悠 雅※			2	福 島 弘太郎	2	進 藤 桃 花
	山 形 県					監	小 林 貴 記	監	本 間 久 義
						1	山 本 礼 ◎	1	大 内 茜
						2	佐 竹 悠	2	大 内 葵
	福 島 県	監	高 橋 徹	監	高 橋 徹	監	福 嶋 健 二	監	福 嶋 健 二
		1	吉 田 響 介※	1	志 賀 亜希奈※	1	三 瓶 涼 賢	1	根 本 梨々華
		2	末 尾 拓 翔	2	伊 藤 萌 夏	2	山 田 和 輝	2	大 石 莉 楠
関 東	茨 城 県	監	沼 尻 満 男			監	宮 原 康 弘	監	宮 原 康 弘
		1	小 林 良 徳※			1	高 宮 虎太郎	1	色 川 渚 月◎
		2	松 崎 稜太郎※			2	佐 川 永 遠	2	米 山 心
	栃 木 県			監	吉 川 典 男	監	毛 塚 英 樹	監	毛 塚 英 樹
				1	森 崎 可南子	1	伏 見 一 輝	1	神 田 瑞 稀
				2	三 浦 菜々心	2	江 原 叶 碧	2	木 村 莉 奈
	群 馬 県			監	榎 原 祐 希	監	中 原 牧 子	監	中 原 牧 子
				1	勝 見 幸 璃	1	新 井 健 太	1	市 岡 梓 奈
				2	大 脇 結 衣	2	星 野 元 哉	2	吉 田 青 生◎
	埼 玉 県	監	阪 幸 信	監	阪 幸 信	監	江 本 圭之介	監	江 本 圭之介
		1	小 泉 熙 毅	1	松 田 光	1	水 谷 大 軌	1	塚 本 彩 日
		2	江 原 弘 泰	2	重 田 夢 亜	2	佐 藤 怜	2	大 越 理 紗

《 参加監督・選手一覧 》

2/4

2025年9月16日現在

(※印:ふるさと選手 ◎印:中学3年生)

地区	都道府県	成年男子			成年女子			少年男子			少年女子		
関東	千葉県	監	秋山礼美	監	秋山礼美	監	水澤拓哉	監	水澤拓哉				
		1	寺島拓斗※	1	小松莉奈※	1	戸邊悠真	1	前田樹花				
		2	橋本圭史※	2	小副川莉桜※	2	江尻浩晟	2	安川結音				
	東京都	監	中村吉人	監	中村吉人	監	渡邊大	監	渡邊大				
		1	竹島駿朗	1	宮田萌芳	1	黒田湊太	1	山倉実桜				
		2	菊池玄吾	2	松村羽奈	2	浦中颯太	2	山上夏季				
	神奈川県	監	石崎勇太	監	石崎勇太	監	大山学	監	大山学				
		1	望月滉太郎	1	辻内未海	1	鈴木琉斗	1	内藤悠香				
		2	上田頼	2	平田葵※	2	名雪楽工	2	玉木梨緒				
	山梨県	監	角田克彦	監	角田克彦	監	保坂充彦	監	保坂充彦				
		1	古谷和真※	1	長谷川美愛	1	岡橋優希	1	三好菜奈				
		2	柴崎充志	2	中川原凜	2	中前孝至朗	2	三好玲奈◎				
北信越	新潟県	監	川上英樹	監	川上英樹	監	阿部丈晴	監	阿部丈晴				
		1	勝島陽希※	1	石川和奏※	1	横堀陽太郎	1	肥田野唯				
		2	水澤康生※	2	畠さゆり	2	浦澤伊織	2	原田紗雪				
	長野県					監	濱堯二	監	山田哲生				
						1	原山将豪	1	山田舞子				
						2	笹森大貴	2	田中柚葉				
	富山県					監	日下大暉	監	秋俊浩				
						1	岩崎泰知	1	上田晴菜				
						2	高林直偉人	2	釜谷美咲希				
	石川県	監	紺谷和生	監	宮田佳恵	監	紺谷和生	監	宮田佳恵				
		1	田中佑※	1	石田紗矢※	1	辻本悠嗣	1	古屋虹花◎				
		2	松本洵※	2	板谷里音※	2	宮岸慶成	2	吉田奈央◎				
福井県	監	山村好孝			監	秋山勝之	監	秋山勝之					
	1	松村亮太郎※			1	田上權斗	1	芹川香凜					
	2	大沼広季※			2	中山智裕	2	若松凜花					
東海	静岡県	監	増田兆孝	監	増田兆孝	監	片山英司	監	片山英司				
		1	片山楓	1	二宮茉子※	1	加藤慶	1	鈴木美波◎				
		2	松浦一貴	2	鈴木陽和※	2	今井力輝	2	山本陽毬				
	愛知県			監	若林勇希	監	船津大輔	監	若林勇希				
				1	成田百那※	1	尾関聖也	1	水谷愛花◎				
				2	山本未来※	2	平手信之介	2	加藤己結				
	三重県	監	中村健太郎	監	中村健太郎	監	田根諭	監	田根諭				
		1	堤隆貴※	1	吉岡希紗※	1	小野倫太郎	1	森下結葵				
2		本山知苑※	2	高山揺※	2	義基耀	2	若菜蘭					

《 参加監督・選手一覧 》

3/4

2025年9月16日現在

(※印:ふるさと選手 ◎印:中学3年生)

地区	都道府県	成年男子		成年女子		少年男子		少年女子	
東海	岐 阜 県					監	杉 江 尚 紀	監	足 立 愉有子
						1 2	白 井 幸太朗 西 山 大 樹	1 2	續 木 理 心◎ 木 村 心 優
近畿	滋 賀 県	監	北 村 哲	監	北 村 哲	監	亀 田 智 範	監	亀 田 智 範
		1 2	清 水 悠 太※ 中 川 舜 祐※	1 2	阿 部 宏 美 山 崎 郁 美	1 2	内 藤 圭 吾 猿 田 倅 平	1 2	西 川 美 空 田 中 花 菜
	京 都 府	監	尾 中 弘 明	監	尾 中 弘 明	監	武 村 篤	監	武 村 篤
		1 2	崎 山 耀 登 井 戸 勇 吾※	1 2	鈴 木 渚 左 堤 華 蓮	1 2	古 市 壮 篠 田 拳 汰	1 2	田 附 理 子 成 澤 寿 珠
	大 阪 府	監	松 尾 孝 義	監	松 尾 孝 義	監	高 畑 寿 弥	監	高 畑 寿 弥
		1 2	永 山 寛 基※ 糸 永 龍 矢	1 2	山 口 花 音 千 葉 陽 葵	1 2	木 崎 琉 士 間 悠 登	1 2	荒 川 愛 子 上 田 結 生
	兵 庫 県	監	山 本 康 弘	監	山 本 康 弘	監	田 中 正 人	監	田 中 正 人
		1 2	増 成 智 也※ 堀 切 啓 貴	1 2	石 川 こころ 梶 野 桃 子※	1 2	立 見 生 吹 西 山 大 和	1 2	上 田 莉 恋 稲 場 ら ん
	奈 良 県			監	杉 江 多鶴子	監	櫻 井 太 郎	監	櫻 井 太 郎
				1 2	奥 谷 梨 那 中 村 天 音※	1 2	大 塚 弦 山 口 慶 二◎	1 2	奥 谷 友 結 吉 野 寿 桃
	和歌山県	監	松 浦 佑 治			監	沢 英 樹	監	沢 英 樹
		1 2	新 出 悠 月※ 行 岡 翼			1 2	岡 部 世 南 坂 口 侑 来	1 2	坂 井 心 優 矢 野 ひまり
中 国	鳥 取 県					監	石 光 孝 次	監	前 田 和 紀
						1 2	安 田 彰 汰 米 本 叶 芽	1 2	川 上 梨 華◎ 赤 井 優 月
	島 根 県	監	細 木 秀 樹	監	細 木 秀 樹	監	中 田 広 貴	監	中 田 広 貴
		1 2	岩 本 晋之介※ 角 陽 太※	1 2	細 木 咲 良※ 加 藤 那 菜※	1 2	錦 織 陽 太 渡 部 朔 也	1 2	押 川 美 月◎ 佐 藤 彩 海
	岡 山 県	監	谷 征 純	監	谷 征 純	監	松 村 道 則	監	松 村 道 則
		1 2	岡 垣 光 祐※ 佐々木 唯 人※	1 2	中 島 玲 亜※ 中 島 莉 良※	1 2	中 島 璃 人 大 嶋 巧 翔	1 2	田 崎 菜々美 池 田 花 珠
	広 島 県	監	武 田 守 弘	監	武 田 守 弘	監	井 上 靖	監	井 上 靖
		1 2	田 中 優之介 藤 原 陸 ※	1 2	井 上 佳 苗※ 藤 本 麻璃花※	1 2	木 河 瞭 大 下 遥 希	1 2	渡 辺 葵 依 藤 山 羽 優
山 口 県			監	田 中 芳 伸	監	川 武 郷	監	川 武 郷	
			1 2	吉 本 菜 月※ 網 田 永 遠希※	1 2	川 崎 康 太 長谷川 和 真	1 2	上 方 璃 咲 川 崎 このは	

《 参加監督・選手一覧 》

4/4

2025年9月16日現在

(※印:ふるさと選手 ◎印:中学3年生)

地区	都道府県	成年男子		成年女子		少年男子		少年女子	
四国	香川県	監	森 直 樹	監	森 直 樹	監	高 木 智	監	高 木 智
		1	切 詰 魁 ※	1	竹 本 萌 乃 ※	1	阿 部 煌 大 ◎	1	植 田 彩 夢
		2	藤 田 真 叶 ※	2	喜 田 若 菜 ※	2	花 野 宇 宙	2	小 若 実 夢 ◎
	徳島県	監	中 林 宏 彰			監	羽 坂 直 人	監	羽 坂 直 人
		1	溝 渕 智 大			1	先 田 航太郎	1	溝 渕 杏 莉
		2	新 城 慶 大			2	北 村 琥太郎	2	一 宮 美 結
	愛媛県	監	日下部 聡	監	日下部 聡	監	谷 原 直 史	監	谷 原 直 史
		1	楠 原 悠 介	1	村 田 千 聡 ※	1	宮 田 凌	1	浅 田 凜 苑
		2	片 山 翔	2	石 川 伽 音 ※	2	長 尾 冠 奎	2	山 中 星 来 ◎
	高知県					監	田 村 亮	監	松 島 弥 生
						1	山 下 真歩路	1	井 上 葵 生
					2	三 宮 将 介	2	濱 崎 希	
九州	福岡県	監	帆 足 政 穂	監	帆 足 政 穂	監	河 野 勝 吾	監	河 野 勝 吾
		1	山 口 世 峰	1	宮 原 三 奈	1	内 田 真 翔	1	ソ アユン
		2	伊 藤 時 空 ※	2	吉 松 凪 沙	2	石 川 橙 弥	2	竹 内 晴 菜
	佐賀県			監	森 扶 美	監	白 武 稔 康	監	白 武 稔 康
				1	大 前 綾希子	1	宮 田 蒼 来 生	1	草 場 椎 奈 薫
			2	大 坪 花 ※	2	小 山 将 生	2	長 友 沙 薫	
	長崎県	監	安居院 公 隆			監	東 口 嵩	監	東 口 嵩
		1	今 里 翔 吾 ※			1	中 川 晶生伶	1	山 高 心 慎
		2	藤 永 啓 人			2	本 村 凌 雅	2	竹 内 碧 彩
	熊本県	監	辻 洋 平			監	多治見 幸 亮	監	多治見 幸 亮
		1	乾 祐一郎			1	行 森 敬 也	1	大 山 裕 子
		2	富 田 竜 誠 ※			2	川 口 遼	2	松 村 乃 愛 ◎
	大分県	監	中 川 淳	監	中 川 淳	監	宇 野 敦 也	監	宇 野 敦 也
		1	松 永 朔太郎 ※	1	木 本 海夢夏 ※	1	太 田 周	1	坪 井 舞 央
		2	佐 藤 祥 次	2	辻 さくら ※	2	安 藤 大 和	2	田 中 聖 香
	宮崎県	監	柴 知 数	監	柴 知 数	監	菊 池 誠	監	菊 池 誠
		1	高 妻 蘭 丸 ※	1	飛 松 杏 奈 ※	1	石 井 貴 哉	1	深 町 友実加
		2	武 藤 守 生	2	荒 武 芽 菜 ※	2	古 川 蒼 空	2	田 嶋 愛由奈
鹿児島県	監	有 村 純太郎	監	有 村 純太郎	監	兼 子 周 大	監	兼 子 周 大	
	1	狩 行 紀 希 ※	1	岡 村 凜 那 ※	1	西 美 晴	1	揚 野 ひかり	
	2	河 野 隼 也 ※	2	山 下 結 名 ※	2	木 村 英偉人	2	青 木 実 紘	
沖縄県					監	平 良 和 己	監	仲 田 達 司	
					1	大 城 優 心	1	井 手 葵	
					2	平 田 十 真	2	宇都宮 早 絵	

都道府県別参加人員表

2025年9月4日現在

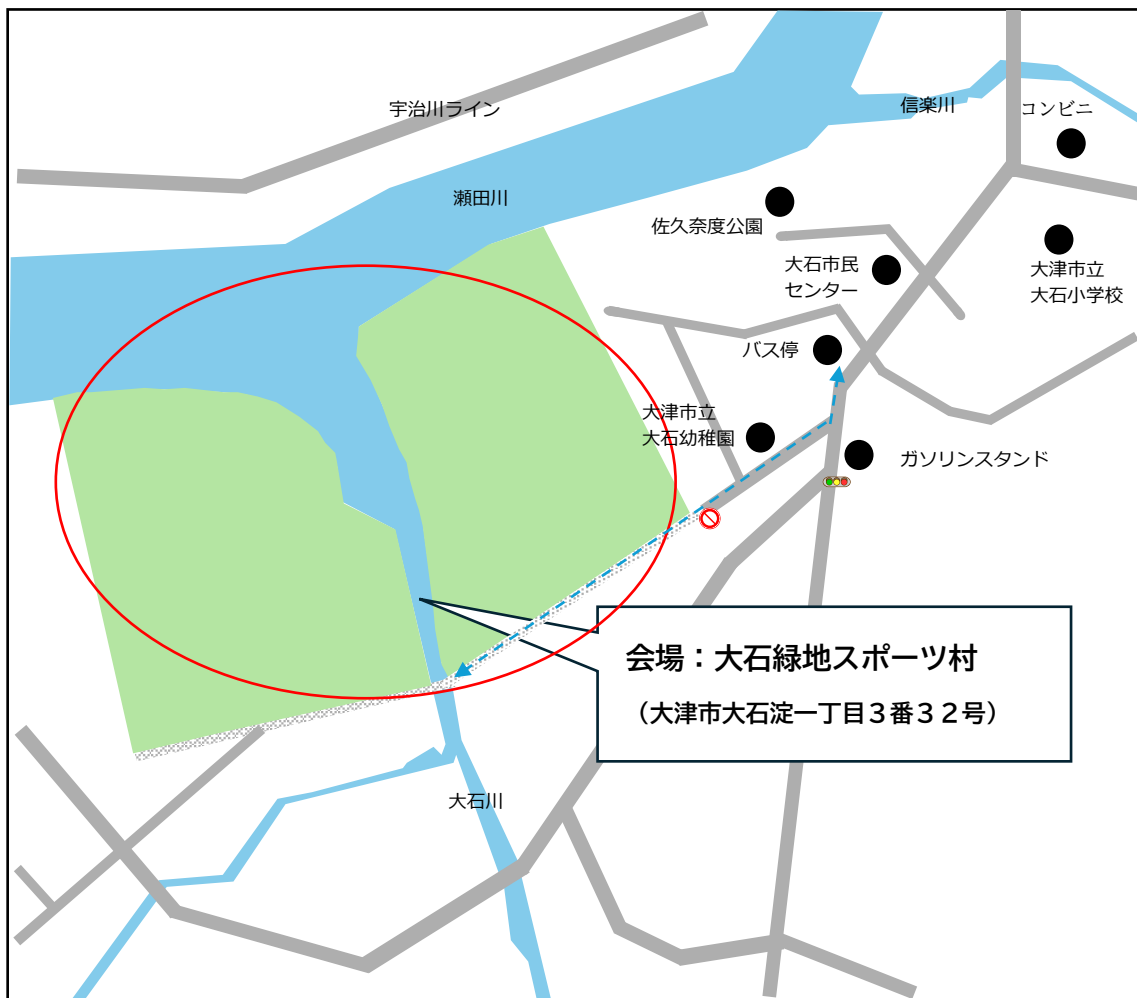
地区	番号	都道府県	成年男子		成年女子		少年男子		少年女子		総計
			監督	選手	監督	選手	監督	選手	監督	選手	
北海道	1	北海道	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
東北	2	青森			1	2	1	2	兼任	2	8
	3	岩手					1	2	1	2	6
	4	宮城	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	5	秋田	1	2			1	2	兼任	2	8
	6	山形					1	2	1	2	6
	7	福島	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
関東	8	茨城	1	2			1	2	兼任	2	8
	9	栃木			1	2	1	2	兼任	2	8
	10	群馬			1	2	1	2	兼任	2	8
	11	埼玉	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	12	千葉	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	13	東京	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	14	神奈川	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
北信越	15	山梨	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	16	新潟	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	17	長野					1	2	1	2	6
	18	富山					1	2	1	2	6
	19	石川	1	2	1	2	兼任	2	兼任	2	10
東海	20	福井	1	2			1	2	兼任	2	8
	21	静岡	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	22	愛知			1	2	1	2	兼任	2	8
	23	三重	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	24	岐阜					1	2	1	2	6
近畿	25	滋賀	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	26	京都	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	27	大阪	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	28	兵庫	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	29	奈良			1	2	1	2	兼任	2	8
	30	和歌山	1	2			1	2	兼任	2	8
中国	31	鳥取					1	2	1	2	6
	32	島根	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	33	岡山	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	34	広島	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	35	山口			1	2	1	2	兼任	2	8
四国	36	香川	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	37	徳島	1	2			1	2	兼任	2	8
	38	愛媛	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	39	高知					1	2	1	2	6
九州	40	福岡	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	41	佐賀			1	2	1	2	兼任	2	8
	42	長崎	1	2			1	2	兼任	2	8
	43	熊本	1	2			1	2	兼任	2	8
	44	大分	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	45	宮崎	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	46	鹿児島	1	2	兼任	2	1	2	兼任	2	10
	47	沖縄					1	2	1	2	6
合計			32	64	8	64	46	94	8	94	410

第79回国民スポーツ大会 テニス競技会

大石緑地スポーツ村



競技会場案内図



◆会場へのアクセス

電車・バス

JR 琵琶湖線＜石山駅＞ からバスで約 25 分（バス停：大石小学校）、徒歩 約 5 分

自家用車

会場には一般駐車場はございません

「パーク＆バスライド駐車場」（南郷水産センター駐車場）を御利用ください

関係機関連絡先一覧

◆わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会事務局

名称	所在地	電話番号
大会総務課	大津市石場 10 番 53 号	077-528-2919


◆会場

名称	所在地	電話番号
大石緑地スポーツ村	滋賀県大津市大石淀一丁目 3 番 32 号	077-546-6369

◆警察・消防署等

名称	所在地	電話番号
大津警察署	大津市打出浜 12 番 7 号	077-522-1234
大津市消防局	大津市御陵町 3 番 1 号	077-522-0119
大津市消防局 南消防署	大津市光が丘町 5 番 7 号	077-533-0119
大津市保健所	大津市浜大津四丁目 1 番 1 号 明日都浜大津 1 階	077-522-6756

◆医療

分類	名称	アクセス方法	二次元コード
近隣医療機関	医療情報ネット (ナビイ)	右記二次元コードまたは、 「医療情報ネット (ナビイ)」で検索	

◆タクシー事業者 (※)

名称	所在地	電話番号
大津第一交通株式会社	大津市柳が崎 5 番 8 号	0120-524-447 077-524-4000
滋賀ヤサカ自動車株式会社	大津市湖城が丘 6 番 11 号	077-522-6767
琵琶湖タクシー株式会社	大津市におの浜四丁目 6 番 28 号	077-522-6677
有限会社共立タクシー	大津市比叡辻二丁目 4 番 31 号	077-579-2278
有限会社湖西交通	大津市坂本七丁目 33 番 6 号	077-577-1760

※一般社団法人滋賀県タクシー協会会員事業者で、本社所在地が大津市内にある事業者

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会（滋賀県）へのお問合せ

コールセンター：0120-550-882

開設期間：9月1日（月）～10月31日（金）まで（9：00～18：00）



挑戦者たちは越えようとする。
記録を。ライバルを。自分自身を。
過去の常識も。世界の価値観さえも。
挑戦者たちこそあたらしい未来への原動力だ。
これまでも、そしてこれからも、
わたしたちは挑戦する人たちを応援します。
スポーツの持つ様々な可能性で、
望む未来へたどり着くために。



JSPO

Japan Sport Association

スポーツと、望む未来へ。

わたしたちは、JAPAN  GAMES を応援しています。



大塚製薬



三井住友海上

MS&AD INSURANCE GROUP

セレスポ

時事通信

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO！』と言う社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、また誰に対してであっても、スポハラは起こります。



Japanese
Olympic
Committee



『スポハラ』根絶に向けた取り組み



JSPPO

Japan Sport Association

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント

(暴力・暴言・ハラスメントなど)に、

みんなが『NO!』と言う社会を目指して



ぼうりよくこういとうそうだんまどぐち
スポーツにおける暴力行為等相談窓口

相談員



りょうかのう
どなたでもご利用可能!

きがる そうだん
お気軽にご相談ください

スポーツにおける暴力行為等根絶宣言・
スポーツ・インテグリティ確保に関する協力覚書»



JSPPO事業についてはこちら»»»JSPPO事業概要パンフレット「スポーツと、望む未来へ。」



『スポハラ』根絶に向けた取り組み



グッドコーチとして適切に対応するための動画・ワークブックの公開

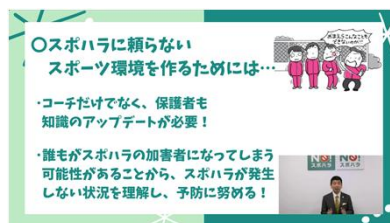


スポーツ現場におけるハラスメント防止動画・情報発信動画の公開

<スポーツ現場におけるハラスメント防止動画>



<「スポハラ」に関する情報発信動画>



ハラスメント防止・啓発セミナーの実施

<令和6（2024）年度の様子（計4会場で実施）>



「NO！スポハラ」活動に関する各種広報資料・動画の公開

<過去開催した研修会等の動画公開>



<ポスター・ロゴ等広報ツール>



アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組めます。

- ▶ 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- ▶ 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- ▶ SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆様のご理解が欠かせません。

これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。
今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- ▶ 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- ▶ SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- ▶ 匿名による投稿であっても、法的手続により、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。

公益財団法人 日本オリンピック委員会 公益財団法人 日本スポーツ協会 公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会 一般社団法人 大学スポーツ協会
公益財団法人 全国高等学校体育連盟 公益財団法人 日本中学校体育連盟 独立行政法人 日本スポーツ振興センター



勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

国スポ会場で

1日たっぷり楽しもう！

国スポは、競技観戦だけじゃない！

大津市の国スポ会場には、“来場して楽しめる”コンテンツをたくさん用意しています。

子どもと一緒に楽しむ！



「OTSU DREAM IT CONTENTS」

大津市で開催するすべての競技会場で、子どもたちの思い出に残る企画を実施！！

「競技紹介」

はじめてでもわかる！！競技の見どころ解説

https://otsu-kokuspo2025.jp/kids_page

きんまいブース（PRブース）

ガイドブックやクーポンを配布！

さらにアンケートに答えると、豪華な
賞品が当たるかも！？

？

滋賀県内最多 12競技を巡るデジタル
スタンプラリーも！

手づくり のぼり旗

全国から参加する選手のために、
市内の子どもたちが心を込めて製作。
メッセージやイラストは必見！



ふるまいコーナー

大津の銘菓などが無料でもらえる！

ふるまい品のラインナップは要チェック！

※時間・数量限定

“滋賀らしい取組み”

「給水スポット」

水分補給で、暑さをしのごう！

※マイボトル持参にご協力ください

ほかにも、見どころがたくさん！

- ・売店やキッチンカー
- ・花いっぱい運動 などなど…

※会場ごとで、設置の有無が異なります

まちの歓迎装飾

市内を走る京阪電車や駅などを彩り、
大津を訪れる人たちを歓迎！
いくつ見つけられる？



大津市観光キャラクター
おつつ光ルくん

公益財団法人日本テニス協会が推奨する商品・公認するボール・推薦する会社

2025 年 7 月 31 日現在

推 奨

大正製薬株式会社
リポビタン Sports

公 認 【ボール】

住友ゴム工業株式会社（ダンロップ） DUNLOP FORT DUNLOP AUSTRALIAN OPEN	ウイルソン US OPEN EXTRA DUTY	HEAD HEAD TOUR XT	PRINCE プリンスボール
ヨネックス TOUR PLATINUM	バボラ チームオールコート	テクニファイバー X-ONE	

推 薦

【ウェア】 ミズノ株式会社 ヨネックス株式会社 デサントジャパン株式会社 株式会社ユニクロ	【コート】 スポーツサーフェス株式会社 株式会社NIPPO 住友ゴム工業株式会社 積水樹脂株式会社 東レ・アムテックス株式会社 MCC スポーツ株式会社 前田道路株式会社 大嘉産業株式会社 泉州敷物株式会社 株式会社NKT	【ストリング】 株式会社ゴーセン 株式会社トアルソン ヨネックス株式会社 Babolat VS Japan 株式会社 株式会社ラコステジャパン 【ネット】 テイエヌネット株式会社 鐘屋産業株式会社 株式会社寺西喜商店 有限会社ミセキネット製作所 株式会社ルイ高 鵜沢ネット株式会社 高須賀株式会社 豊貿易株式会社	【ラインテープ】 グラス・ファイバー工研株式会社 【低周波治療器】 丸菱産業株式会社
---	---	--	---

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins or other markings on the paper.

記録速報サイト

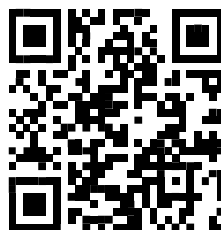
【OS-LIVE】

組合せや試合結果を
大会期間中リアルタイムで配信中！！

～URL～

<https://shiga.os-live.jp>

～二次元コード～



記録速報サイトの表記について

テニスは、試合が始まる時間が決まっていないので、下記の表記とともに時間が記載されます

F.B : Followed by ⇒ 前の試合に引き続き開始

N.B ○○:○○ : Not Before ⇒ ○○:○○より前には始まらない

S.A ○○:○○ : Stating at ⇒ その時間に試合を開始する

A.R : After rest ⇒ 連続して試合を行うため、休憩後に試合を開始する

【公益財団法人日本テニス協会】

選手名簿やオーダーオブプレイ等を
配信中！！

～URL～

<https://www.jta-tennis.or.jp/tournaments/tabid/128/Default.aspx>

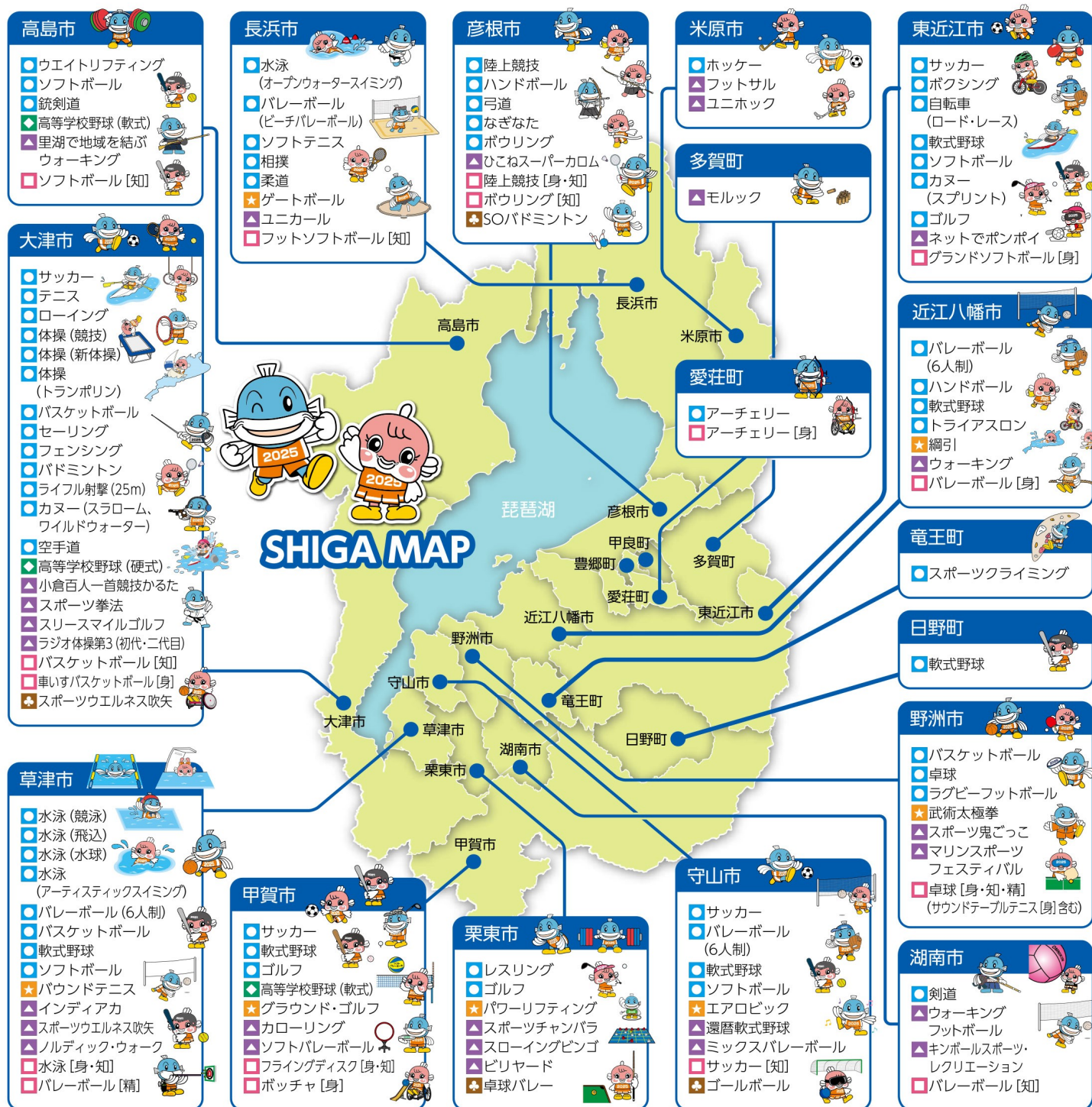
～二次元コード～



スマホやパソコンで閲覧できます

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 競技会場地マップ

2025年8月現在



国民スポーツ大会

- 正式競技 (37競技)
 ◆ 特別競技 (1競技)
 ★ 公開競技 (7競技)
 ▲ デモンストラティオンスポーツ (26競技)

全国障害者スポーツ大会


- 正式競技(14競技) オープン競技(4競技)

[身] = 身体障害者 [知] = 知的障害者 [精] = 精神障害者

※国スポ競技会の詳細については各競技会場市町にお問合せください。
※所在地と運営準備市町が異なる場合があります。

県外開催競技

京都府

- 同日市
- 自転車
(トラック・レース)
- 

大阪府

- 豊能都能勢町
- ライフル射撃
(50m、10m、BR・BP)
- 

兵庫県

- 三木市
- 馬術
- 

びわこ国体・びわこ大会から44年ぶりの開催！

国スポ実施期間 令和7年 9月28日(日)~10月8日(水) [11日間開催]

国スポ会期前実施競技 令和7年9月6日(土)～9月15日(月)、令和7年9月21日(日)～9月25日(木)

障スポ実施期間 令和7年10月25日(土)～10月27日(月) [3日間開催]

大会公式SNS・HPはコチラから!

滋賀2025

檢 索

2024年から国民体育大会(国体)は、国民スポーツ大会(国スポ)に名称変更されました。

大会 PR
動画を公開！



x



大会HP



- 用 紙:責任ある木質資源や再生資源を使用したFSC® 認証用紙
- インキ:植物油インキを使用

湖国の感動 未来へつなぐ
第79回国民スポーツ大会
わたSHIGA輝く国スポ
2025

来年は、青森県で第80回国民スポーツ大会が開催されます。
また、青森県青森市でお会いしましょう。



青の煌めきあおもり国スポ・障スポ
公式マスコット「アプリーツ君」



大津市観光キャラクター
「おつ光くん」

競技記録結果

開設期間

2025年9月1日(月)～12月26日(金)

▼PC・スマホ



<https://kirokukensaku.net/5NS25/index.html> →

▼フィーチャーフォン(ガラケー)



← <http://kirokukensaku.net/5NS25/mob/index.html>



国スポチャンネル

国スポ競技の動画配信を行っています。

※競技によって配信スケジュールが異なります。

ホームページ：<https://japangamestv.japan-sports.or.jp/>



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会SNSはこちらをチェック！

大津市実行委員会HP：<http://otsu-kokuspo2025.jp/>

X



Instagram



Facebook



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会事務局

滋賀県大津市石場10番53号 TEL: 077-528-2919 (大会総務課)